重要想談 海野內府江三

命を賭

て憲政を擁護せよ

へ會氣勢を揚ぐ

3

動排擊

政際政治の擁護を

に對して無な代表

に難して驚な代表。 空事として驚な代表。 空事として驚な代表。 な事が、鈴木新總裁。 はず、新内閣成立を待つに決定し せずるも、二十四日の開院式を役 を持げ、鈴木新總裁。 はず、新内閣成立を待つに決定し せい。 をはずるも、二十四日の開院式を役 を記している。 を記している。 を記している。 というない。 をいるない。 というない。 をいるない。 というない。 といるない。 といるな、 といる。 といるな、 といるな、 といるな、 といる

文化方面から 満蒙を觀る

京大の兩教授來連

高い 国相 本産品を致しませう(窓路を致しませう(窓路を致しませう(窓路を表した。 右小西氏) 再認識

止 せればなられてする陸軍の全 をでは、軍人の本分に悩る ものな否認は、軍人の本分に悩る

ず只現下非常時はそこあらめを否定するにあら

歌師な歴館的決念に考

遽に電話を設備

大命降下說濃厚に

態度協

後網四隅に野に

軍事參議官

會見

4

ある満蒙の軽線蔵と移民間壁の方。 針な定めるべく二十日はるびん丸 南京二十日教 反日 勝徳の國卓 高れ抗日教國會代表は昨日午後王標 一般で書見して滿洲問題が解決する 後滿洲の矢地画像に一層等力せよ 後滿洲の矢地画像に一層等力せよ

版

九時出帆の長崎丸で帰朝の途に就 有吉大使歸國

Ħ

有機化學演習離

會計校査

版

^{婚補}鑛床地質學

米の善物に比し遜色ない。これに内外の質例な適宜に加へ歐

新



Ŧij

救急療法を應急手段

うに書かれた。 常をすぐ役に立つや

咄嗟の場合

アッ

| 上海十九日費|| 激戦の思ひ出深|| 部第三跳長に輸補、第三艦隊参議|| 5支那順に移駐した、又江浦織 | 外人、被害古名に|| 5支那順に移駐した、又江浦織 | 外人、被害古名に|| 「一帯も支那順に移衛した、又江浦織 | 外人、被害古名に|| 5支那順に移衛した、又江浦織 | 外人、被害古名に|| 5支那順に移衛した、又江浦織 | 外人、被害古名に|| 5支那順に移衛した。又江浦織 | 外人、被害古経験参議 | 5支那順に移衛した。

版

書翰文講話及範

小説家の代表的模範文をはどめ 手紙の顧法、手紙のこさばの使 方、便箋に認めたペン智字、文 字のくづし方一覽表

各方面の名士

版

新 訴尋常小學唱歌 講露和大

八辭典 大倉書店 学のくづとす。 御家庭の好侶件! 大特價提供!!

林選手太田芳郎著 四六列洋

対無智試合 目黑書店

語重要単語的研究 セット共著(四六判布装)定價金貳組

商品鑑識法

所滿洲國。支那本部全圖

については深度なる考慮を振ふ旨な遠べ、関公の参内を機でる事を進言と、更に山本伯、清浦伯の意向な像へ、教】牧野内府は二十日午後二時駿河道に関公を訪問、現 超黨派的强力內閣を以て現下時局に處する最も適切な措置をは動を一にしてなり、軍部の強硬態に後衛門に反映してゐるから經歷園公は軍部の 界國一致內閣、

及び貴族院その他各方面より國家的人材を網羅し、東京二十月第1年野内府は剛公の掘きにより二十日午後二時職公允勝職、東 強力内閣出現の必要な 軍大時局政治に當つでは 各政黨の代表的

官會議

政友幹

部重任

京部南佐に決定し

開院式

は延期

本日の定例開議

文學博士及び交化學院研究に標準で京大教授矢野任一、小西重尚師で京大教授矢野任一、小西重尚師

★力米曾有の煎大時局に繁島するやう都部と、下の煎大時局に際し四個の愉快に鑑み厳く人 る際の打合せた遂げ午後三時七分齡去、直に内大臣府に入り 最も強

町の私邸に訪問意見を交換した十日午前九時鈴木内相を廻町三

成り強く反映してゐるもので見られ、 政府航では鈴木内閣出現に多大の危惧 境には陸軍方面の空氣の機能は一言も答べなかった由で てる

登

我等は不滿を申

きて

な

3

十 嘉三郎氏は二十日はるびん丸にて 然も、その後ごう進層 水連した、矢野原士は譲る かららその将來に亘つて研究調査 問題で充分なる調査で 関の見地から高家を解剖して各専 に離社を進めたいる場合を進めたいる人々は 関題で充分なる調査で 関の見地から高家を解剖して各専 に離社をから高家を解剖して行 に離社を地へのたる調査がかられるが私達は文化の方面から に離社 東地へ向ふ答。

海相で會見後荒木陸相

不降相より左

江灣地區一帶を

支那側に引渡す

我軍、鐵道以東に移駐

日

が可

め治淨化の

精神

國家的立場において種種的政治を「管行するや否や疑ばしきはて、、衛來の態度を一新し総称の」れごも如何に公録することが、者は既政無人による内閣にも「強行せば、一覧差支なきが 陸軍首脳部の に悖らず

國民の配

聖上の

しても、 によっ によっ によっ

盛 **老 追七**計 問 所 新計 問 通 信 所 新計 臨 時 常 **歲 加 年** 臨 時 常 時 常 時 時 常 時 時 常 節 部 部 部 部 部 事 一

步哨狙擊事件

委員會に報告

人にして破害を続りたる者に難し、職職において上海事物に際し外側、東京二十日費」政府は二十日の

見舞金

七年度の實行豫算

七億八千四十萬圓と決定

小曾有の

尨大な豫算

、その機能は常に 脈診で、脈後の正 が変化が開発

我院政史上未曾名のだって七億八千四十萬日の日

▼3 陸軍最高電艦部 無速に既成政艦人に 無速に既成政艦人に

その内澤左 育園の 南風の分で總額 一千國、 一千國、 州事件費追加速 年度追加豫第

三將軍凱旋

會計機造のため二十日入港のはる がん丸で楽建、直に旋順に起く密 を記憶音で、即う定機による機査 は際年毎に行はれる規定で明年度 はであるが、一行今回の検査は臨時 は一般をではれる場合での検査は臨時

本願書記を供び満鮮谷関係機関の

津屋檢查官來滿

六月二十日ごろ 街線連市連大 七五四八體 町日春天奉店支

時常 歲

部部

公計

值

は大脈後その他關係電局において、もの被及び方法等の練目について、 白川大將容體

その支 さんてこの方面に配ての合計検査の を信かためさ見られてゐる。なほ 本の日程左の如し 本の日程左の如し

11

外なき機能にある 不穩ピラ撒布 東京降ホー

こた十九日午後一時五十分東京縣 【東京二十日教】西閣寺公の上京

第二末ームに「一人元老の意思を一な、八十枚な服命とた者があつた 昨朝の容體良好

刊

東京一、一四一八番 師四方敬一著

東京である。 東京でする。 東京である。 東京である。 東京である。 東京である。 東京である。 東京である。 東京である。 東京でなる。 東京である。 東京でなる。 東京でな ル時の容機は機温三十六度八、

刊

圓卓會議 反對運動 南京反日團體 重 版 産業組合の話

代數學狙5所 學計 越智治成著 個

文明

文明社都行の話がな様のて平田組合を極めて平田組合を極めて平田組合を極めて平田組合を極めて平田組合を極めて平田組合を関いている。 説明する場に誰にもの管購買組合政僚組合利 送定科は

四六判美裝 途科六後 はな利用して難局を打開しなげれ はなもの、本書には でありたが開いたがれ

野田兵一著

海堂出版部

餘脳西ヶ原刊行

會員發行會版 經濟的な豪物の定果法 重新 版刊 圖書案

谷山つる枝作詞 中山 晋 平作曲

中山晋平信郎「輝く日の一幕殿オーケストラの台

めに目下本社共盛にて東京的木屋にて彫修中の淅洲桝殿覧會にて今廿一日午後一時より四家文子螺撮影社が慰賞泰集とた「滿蒙維新の歌」は此報の妲く一等當選の徐山つる枝氏作詞を中山晋军氏が作艇し、

しく教表演奏音を開催す

ける帝都滿洲國展

で發表會

=中山晋平

に入りたるが、其間に入りたるが、其間

馬占山問題の

では二十日午後完成に至り、おけれた。おは、一十日午後完成に

裏面に學良

謝外交總長通電全文

を近よ、二十日午後二時三十分外、 ツトン臓に對し養した公式の通電 ツトン臓に對し養した公式の通電 馬占山問題の 書を手交

奉天へ

出蒙するに先立 調査團、謝總長等に

と會見 馬占山問題 漸く

府外突部緩和司長大橋忠一氏が去この會見斡旋だな要謝してもたが、満洲國政府に難し、チチハイで延期してもたが、満洲國政府に難し、チチハイでを延期してもたが、満洲國政府に難し、世界の場合は、

吉林省城一帶

米七十六切石数、

六である《長春電話》

資政局弘報處移轉

間の整 を引掘ひ移動を開始し 関門、こなり、十九日より處 関門、こなり、十九日より處

さ『寫眞は林氏』

東地に向ふが、

國民政府の

財政危機

報從七位(各通) 稅務醫賦從 朽原 忠家 七位則八等 朽原 忠家 同 小穀冶快健 同 小穀冶快健

張學良の逆宣傳 山海陽事件の真相を調本 アメリカ武官

東を執るべしさ見ていない。 五十三國六であつ

▲検浦喜三郎氏〈女化學院研究員〉 十日入藩はるびん丸にて來連 十日入藩はるびん丸にて來連 本小西電尙〈京大教授〉 同上 ▲小西電尙〈京大教授〉 同上

多額の入植を入 今一歩伸び悩み

田來高 四千枚
豆 粕 一六九〇 一六九〇
田來高 四千枚
豆 滷 一三九五 一三九五
田來高 二百箱
墨 二七八〇 二七八〇
出來高 二章

出來高 二十軍 出來高 二十軍

五五五五四四後 四〇五五五六二 〇〇〇〇〇〇

技電 話 沙河口局内

小口 管金月給者月帰教員證人

【東京二十日費】金融鑑路公司では二十日地の内日本工業供樂部では二十日地の内日本工業供樂部で職役者を開催、来る二十八日同所で開かれる定時株記總會に附続すべき密耕決算案(同期同橋無配常) 金福鐵重役會

鈔票强保合

東京二十日發】次期內職は鈴木

へ連市役所愈よ

廿八名整理

きのふ通告を

諸株上伸

三野英一志八片一三野英一志八片一

も考へれば、この言は本と職盟とが野立して

大橋、自出度い 全性界の社會的 でき世様ださローマ法王の主ないして でき世様ださローマ法王の主ないして でき世様ださローマ法王の主ないして できたなもの、全人類が押滅され の中に機能せばばならかる大学リ をないから、職監は をないから、職監は をないから、職監は をないから、職監は スのエー式委託統

◇定期後場〈単位終〉

三九四引四八七

大学 神町が留所階下十四巻 「八巻三四巻半二、 「八巻三四巻半二、 東井 「大巻三四巻半二、 東井 「大巻三四巻半二、 東井 「大巻三四巻半二、 東井 「大巻三四巻半二、 東井 「大巻三四巻半二、 東井

一部十錢

電話 金融質質は何さ云っても で出す 常質な名義蝦夷也でさる 野安く最も水く 大連市次路町 大連市次路町

六紀ノ編局賈吉族 大洋社電ITEIの ・ 大紀ノ編局賈吉族 大洋社電ITEIの ・ 大洋社 ・ 大学社 ・ 大学 ・ 大

地大阪三島後場は崩保合な人れ常市地震は通保管な人れ常市で相當商内郷人だ。 勝山洋行

三四三九四段 **女間** 八種開卵上供良 第二卷第二十號 五月二十一日發行

関を提携さよ、大衆の自由幸福者よ手を握れてED 貴志英

職盟調査員 臺灣の長者 関東麻酔令(十九日)

醉 令 [東京二十日登]

△哈爾濱小海

スス

人調

務兩課長の後任なごれては二一地市見ないがは尚早である。

らそれ迄間かないでゐて見わ

流市

况二十世

産業視察が目的

事業を起すか、

どうか判らの

内地株弱合ので常市も弱保合ので常市も弱保合

五二六〇

九九九七五

阿米阿斯斯斯 山中岩

る為めには、少な・・・ おもとく、更に極東の質體な

の密使密

認識程度の

或は不可能

一は其の職務に熱心なる年以上が滯留せんさっ

はまたうら聴しい花蝶の如くはにはるびん鬼にて恋連した、脳中にはるびん鬼にて恋連した、脳中にはまたうらいない。

中で、この第一段の完了をまち直。 道路の延長は二 さなく産業方面を拜見したいされて、今度來たのは別に大した日 で、今度來たのは別に大した日 で、今度來たのは別に大した日 で、今度來たのは別に大した日 で、今度來たのは別に大した日 在關東鵬屬 下八位動六等 木村

高 粱 續 落

10

ルピン廿日發】新規土地和他 よりハルピンに避難中の鮮鬼 千七百名は、近くハルピンに

哈市近郊で農耕

新規土地租借法によって

(報発を重要を表する) (本数発を重要を表する) (本数発を重要を表する) (本数発を表する) (本表を表する) (本表を表

内移局商工課動移を命す 内移局商工課動移を命す 関東鵬警視 青木 関東鵬警視 青木 下锅 東北野湖

古着 実他御不用品は他店より 古着 実他御不用品は他店より 技術別高價質受けます 古道具高價質入 野 報 参 上 下でまや電点六〇一番

不用品賣買

2

裳 山礁町 三浦庙

女

商券 參勒業商券會買並に金融 一方式。明白轉鑑定實買自家電局 上打粉油有 上打粉油有 上打粉油有

算盤の御用は

天帆 紙は此甲に限る

白帆高級お化粧紙

建紙 戦費元 拓茂洋行紙店 ・ 大変の三山島紙 地食の三山島紙 大次八川 ・ 大変の三山島紙 は 大次八川 電話七七二四番 勝 題

不四二一三四 市 五七二六三 市 〇五八〇〇

古本の御用は

また 日接の場 譲店 電話二一四五三へ問合

新八七五〇)へ来り 師るか又は佐藤家

F

満日案内

大七三〇

九九一

思ふ時は、一種の悲哀感をさへ抱いよって與へられる小身の影響を

情操脈治さ

合

小學校女兒童のために

濱田 淳子、永井 今泉千代子、青木ケイ子

0

(伴奏)

小和多晋子先生

朗かに彼女らは唱ふ

致

の光が強り光ちてるます、誠にました。野にも山にも難からい

カー 英の自然美を取入れ四季揃々の行いってあるのに比べて、清州の冬の では、東の自然美を取入れ四季揃々の行いってあるのに比べて、清州の冬の では、東に駅まれて、ゆたかな詩情を整ちれて、かられて、東京駅まれて、ゆたかな詩情を整ちれて、 即つ の美しい自然にはぐくまれ、即つ の美しい自然にはぐくまれ、即つ の美しい自然にはぐくまれ、即つ の美しい自然には、

誇りの一つさして襲へ駆げられる

五月祭の

私共母國の人達が、

崩洲の群を隠讃す

今夜 AK から

女

*

M

新滿蒙

解説 新城洲へ表現した

加藤

煙るは崩黄の標よ

難に明ける

女

公



光色

【件奏】

| 瀬刺さしてぬます、この新興國の前途を脱編したものです 滿洲國資政局弘法處作歌 村岡樂童氏作曲

サダ 的意 向 からしたん 降行切臭説脚

心がきたつ五月の祭り €

3

サア戦はうようたはんせ

世界の人の友たらん

一資本金

● 株式大連商業銀行大速市西通 大速市西通 電話 四八五二番六九三〇岩

(日曜土)

四回の五月祭を開催することになれている月祭を開催することにないために第一年前十時から議家屯の大連運動場に対する時ののために第一年前十時から議家屯の大連運動場に続て、市内婦人が見いために第一年の一大連運動場に対することにないませらか、 年からこの五月祭を創始した所以際行の増進され目ざして、昭和四

解說

蘆振英、陳金英、徐蘭芳 曹翠雲、遲淑謙、徐秀英 季桂英、芍芙蓉、李敏芬

 \equiv

をあさみなさん踊りませう なあさみなさん 11年 であるかなさん 11年 でありませる 11年 である 1 花が咲きます木の芽が出ます \equiv

行手はるかにかげらふ野道 今日はわれらの嫌しい祭 満洲野の五月

滿洲野の五月 一般婦人のために

合

三神かめよ

日出づる画の花たらん 集びも学校哲やかに 集びも学校哲やかに

柴田婦美子 春枝



3

藤カナ子

生い立つ我等花乙女 配酬生の春のうらいかに でる満洲野 彌生ダン

先づ本誌を讀め!! 結婚の悲劇

創版人スペー を の歌・愛の (女流歌人) 欄數信濃屋豐里 長谷側 ド。女王(大佛

月

のみ故 國の藝術を見るのでなく世界 人としてそれをのみ故 國の藝術を見るのでなく世界 人としてそれを経賞するの一長 所を與へて異った。これが私が恐らく生涯に得た卓越したものであるかを明かにしたい。從你的價値に卓越したものであるかを明かにしたい。從でるは一枚の劣作も私の書物に入れない。私は作品の一枚一枚に詳細な解説を施し、加へるに作品の一枚一枚に詳細な解説を施し、加へるに作品の一枚一枚に詳細な解説を施し、加へるに作品の一枚一枚に詳細な解説を施し、加へるに長篇の評論を以てし、その上英文論評を卷末に附し英文の挿繪目次を入れた。私の世界に於ける 最早や賣立目錄に厭いてゐる。如何なる遺家できる情に必ずや『座敷八景』を晩年の遊女物と一緒に眺められることを恥ぢ、歌鷹は恐らく享和時代の作品を焼きたく思ふに相違ない。私の浮世繪版質に對する個人的愛著は古く三十年前からのととであるが、敢てそれを力説するほど私は愚かでない。私の浮世繪版は幼少時代から外國の藝術に觸れ、實際に長いは幼少時代から外國の藝術に觸れ、實際に長いは幼少時代から外國の藝術に觸れ、實際に長いは幼少時代から外國の藝術に觸れ、實際に長いは幼少時代から外國の藝術に觸れ、實際に長い

真物出來證驗

連放送局より全流の乙分室に向つて難々しく呼びかけるこさにになりました、満洲野の乙分ラウンドに於て能されるここになりましたが、今夕は「五月祭の岑」さして午後七時より失懷れた大連市役所指能、本社後援の鳩とい五月祭は明二十二日(日曜)午前十時から大連グ哲薬の風薫る被受何さなく飾り出したい無持に滿たされるこのごろ!満洲野の乙女らが待ち そはわれ等乙女の五 節れ頭かに快

民からは悪ばれたのみならず市会を附奥されたのでありまこた。市

フログラム

確實に永久的の生命

豊かな心の翼を伸 小鳥の様・胡蝶の様に 心樂しく一日を送りませ

大連市長 小川順之助 からかりまして船ご空前さもいは、 外でありまして船ご空前さもいは した、そして早くも大連市が持つつか収め得て全市の人遊に大きなセ は 過した程で、如何に一般から歓迎では五川祭の銀箏を全會一致で通 意見によって改善さ 段の花やかさか見せて、全市 かうして第四回の五

のやうに舞って心たのもく、のびやかに一日を送っていたときたい。 合

女學校生徒のために 太田 京子 京子

藤 加藤カナ子

さめさ樂しく踊りませう 打てよ銀製紙の空 南部電波のはて 南部電波のはて

で質に軽快なもの

解説 我忠勇武烈なる軍隊の 地からて清洲同胞の感謝の念の 地からて清洲同胞の感謝の念の 機分でも現はそうさする献納飛 無井カベ子 ・ 中村久位子 ・ 中村久位子 ・ 中村久位子

小歌が

迎。

はてない曠野をのぼ つづくは高粱の穂なみよ ララ 新済家 はなれられない たのしくひどく たのしくひどく たのしくひどく ララ 新浦蒙 ララ 新浦家

我等の飛機 滿洲

如何なる遺家でもの美術愛好者に顧をも與べずに漫然

◆點數改竄を整搾取なつ

石森 延男氏作歌









洋装讀本 野釣舟に潜令嬢 ●煙草小賣店を開る 須藤一 グンヤ・トツネヤジ 子 絃 田

武

女房於髭並熱鄉加 海上の後變事口

利 マ代金 に深勝の声呼付) の外は一国五圏づい支援の事 の外は一国五圏づい支援の事 の外は一国五圏づい支援の事 の外は一国五圏づい支援の事 定口贈呈 漆塗金泥文字書匣髓 全 3 喜多川歌暦 著者が「最後の歌禮」と 2鳥居清長 藁な均野美の奏現である 4東洲齊寫樂 の原際を紹介したる強樂 春信 一町錦區田納市京東 〇四三五四京東部

次郎先生著 手橋木版を添ふー 対膜の||函を添ふー

古學の復興 洋道徳振作に 趙立法院長いより 孔學會を創立する

やらすごう

四級と無償以上あつ一蹶いてるたとの数と無償以上あつ一蹶いてるたと

をと素能は公司にて見智さして月 をなし夜間は學科の教授を受けて ななし夜間は學科の教授を受けて あるさいふ既然で共成難も非常に よく年々志望者も

【事大】立法院長趙成伯氏が中心さなつて東洋道徳振作古墨俊興 大自城さして孔墨會を解立すべく郷備中であつたが歌日中に報告 大き郷行するまでに進捗し既に超氏の名を以て長文の宣言書を登 式を懸行するまでに進捗し既に超氏の名を以て長文の宣言書を登 式を懸行するまでに進捗し既に超氏の名を以て長文の宣言書を登 表し事務所し黎天城内大南門の交脈に置くこことなった。その事 変し事務所し黎天城内大南門の交脈に置くこことなった。その事 変し事務所し黎天城内大南門の交脈に置くこことなった。その事 変し事務所し黎天城内大南門の交脈に置くこことなった。その事 研究所等の設置等である 實外一名奪還戎克も排獲の上引揚が曖昧を真つたのみにて人質克夫が曖昧を真つたのみにて人質克

跳梁の大刀會匪 鮮農の避難嚴禁 新濱縣下最近の暴狀

大学地か窓と掘り端報繁行機能 とた鱗皮の話によれば同地方には、地方殺等の名目で良民の金を搭取した鱗皮の話によれば同地方には、地方殺等の名目で良民の金を搭取した鱗皮の話によれば同地方には、地方殺等の名目で良民の金を搭取した鱗皮の話によれば同地方には、地方殺等の名目で良民の金を搭取した鱗皮の話によれば同地方には、地方殺等の名目で良民の金を搭取る。 てゐるさいふが、日本の清飯沿線に遊り 大政は補順子金泰に貴重金品なま が代に明んでゐるさ、佛心村長等 が代に明んでゐるさ、佛心村長等 たのが、本年は未だ一件もなく皆なして鮮農等が借入れた金融組合

建龍の一隊

本溪湖に中等工業學校

近く市民運動開始

海賊三交戰

警察官慰問金に寄附

一つて遊ごせんさしたが幸いまる十 上陸に同地居住の朴博野が楽上に依 て五名の人質を地致再び楽上に依 の大質を地致再び楽上に依

人に新し種種を施すさいもに耕地属一帯を巡って居住戦闘約四

は頗る平穩

漁業局砲艦

日 新濱縣下三道河方面に移動掠奪五十名の呼賊側は十七日警艦車 め附近の駐農等は横

の急報に保安隊は討伐のため出動

それは目下の漸洲國には中等工業をかに権に就かしむできてあるが 食物であり共動も値かに数官外の状態は繰りに

のがあるから天然の工産を生せしのがあるから天然の工産を生せし

グチの盛漁期で 熊岳城おは賑ひ

鮮農績々

五家子

+

六

に陸綴し奥地方面へ輸送するもの、全種で、米漉さなも車局にて漁獲物は近年飛さ配を中、沙崎への清景総管法が悪にて野農衛日教出動して非常なる殷盛に今や楽型は市ななしてゐる歴況である は会主機を出費となるの外谷地よ 時公主機を出費となるの外谷地よ は一大学族は十九日午前八 情地が事務所長荒木掌氏及び前地 る戦人見堂の教育機関地変学校は 1四平新』戦年前よりの聴家であ 四平街の 鮮人學校

-+

頭匪二一勝 縣長を脅迫

を救恤

掃匪戰殁者

ら此際適當したる校舎も現存して一

北平へ誘き出されて

激増してゐるのであるか

「大田県」 「大田県」 「大田県」 「大田県」 「大田県」 「大田県」 「大田県」 「大田県」 「大田県県 「大田県 「大田 今回遠陽中縣城に擁除するか以 ちうご 親に三勝中勝の駐在地點變更に 五百元 郷長に宛て大要左の如き脅迫が郷長に宛て大要左の如き脅迫が

拳銃に羽が生え 五百元を交付するこさになるでは大洋二千元練長に一千元際下

銃砲店はホク 0 の部下になって居る元神戦日王全 ので北平まで呼び出され接続され で居るさの事で城内の要人は少か

設立要望の氣運 試用期間延長 撫順炭礦傭員

貰つた賞與金十一圓を

はれた、関東殿旅襲場院に目下府 た、處が一枝さんこの思ひがけな現代にコレは又奇順は附端婚が現 との觀聴に遠へ現金の視臭を受けなった。 機以発に付き金十一個な質臭す」 旅順醫院の健氣な一附添婦 ない 変更金に放縦と無駄に渡るすべ は きでない 主直に を順響に 出戦今回 と の事要に 散職 と た 管経官の 砂能金 で と して納めて下さい さ申出た に押送し爾來取清べ中であつた。 「開員黄利甲(三)の三名な逮捕本職者できない。

紫外居住縣校、下土一同は北浦に紫外居住縣校、下土一同は北浦に お禮のカップ 您兵隊員へ 鞍山守備隊から 換算率

勇敢な會社員

新築に決す

上等兵等に公私多大の世話になつ上等兵等に公私多大の世話になつ 泥棒ご格闘

実物総上派教一足を抱へて除柳徹 となりなり 男物総上派教一足を抱へて除柳徹

すり片づいた、原因は肌蛇の除食 ・ 製能選どりの外出解り同所降近 に一覧が小便をしたのな温整が科 めるや上機能の変軽隊の敷名の称 を聴せつけた第一、第四分局長仲。 をなったがおさまらず第四分局長 であるさいふので常見者に一 だら、強速動すべく種々準備せられる。 であるさいふので常見者に一

素晴しい我憲兵隊の偉力

はあるぐ縁厥の地域さて日本官部 の力の充分及ばざるを命質さら不 繁平公河来附近に機嫌を構いを地でも かんが いっちゅう いっち いっちゅう り、日本側でも脚々支那として と不実践人の検験と見り とた事もりっ 幹部を捕へられて四 を含まれていた。 を対していた。 をがした。 をがした。 をがしていた。 をがした。 をがし、 をがした。 をがした。 をがした。 をがした。 をがした。 をがした。 をがした。 をがした。 をがした。

等成ら神脈地外に逃れ地 南本衛岩縣周一方より前 南本衛岩縣周一方より前 五日間単行されるが参 臨時列車 薬王廟祭典に

【廣陽】途中縣移住鄉 派遣警官交代

あるさ同時に容易に説現も得べきあるさ同時に容易に就せる事は整要の事で子兼教養に就むる事は整要の事で

ンセンス

日午後四時ごろ大西

大院中故至念來で臭れさの通信に 新いてきたいである。 展子が北京大學に留學中の處域線 たが総局工物二萬二子四百圓にて 展子が北京大學に留學中の處域線 たが総局工物二萬二子四百圓にて 原語 建陽縣指導委員會委員で 方事務所地方保長専田増太郎氏等 投獄されたか 遼陽指導委員虞恩榮氏 [事天] 窓天放送局では今後日本路及び南州路線座を開始するがアログラム左の如し
▲日本語 五月廿三日より毎週月、水、金浦洲時間午後七時間分より約冊分間、藤師は南浦中要要敷蔵近薦喜助氏 日語後學校設立に決定し 協和日語與

長子の病氣は厳禁で

を子の練氣は膨緩で水氏は服婦良いを客月二十日急遽赴平せるが今にを客月二十日急遽赴平せるが今にを客している。

康平縣の 不逞團

日野び出るれ河野地低かるかり場を失ったダンスの離り場を失ったダンスの離り場を失ったダンスの離り場を失ったダンスの離り場を失ったダンスのがり場を失ったダンスのはいかは、

無許可で跳り狂ったムク 無許可 舞踊場 0

奉天放送局の

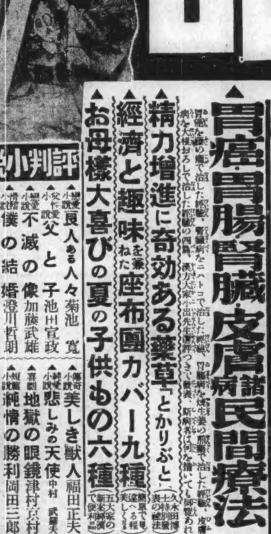
日滿語講座

プロ決まる

號

附錄

岩亭反 う **◎無料裁斷** |愛見の爲に之を知ら四 吉岡豊帆におくまり





| 評判料亭の季節料

を公開、生活を築にしたい人、お金を貯めたい人はゼヒ早く御覧あ理事、職買組合の沼口理事外四氏で、今日からスグ賞行出來る虎の堪の隣より子さん、金儲け利殖の研究者谷孫六氏、貯金養難會の竹田席者は―巡査で三萬國貯めた清水太郎氏、二萬國貯めたモスリン

誰にも出來る日本最初

の獨習書

1111

どんな 布代丈で立派に出來る 人の方でも

了供服

四歲安兒用 △五、一四歲安兒用 △五、一人、本歲安兒用 △五、一 SP

服地と附屬品大特責

の脳は

B

人から好かれる

▲夏川靜江號化粧等着附 ** 實演大畫報《宮川美子·岡田嘉子縣》姿態美研究 #

本で、として温かいまた以て客へ を対域温に流く人へ……等、要な場合に流く人へ……等、要を以て客へ

夏の洋

表土久の特殊の機関は

響氏及び昌岡より其後低さらて着一部原へ影響せる影響を同長多田

東調練所からも二十名参加で決定 の下に十九日夕六時中養列車て出 を選信率は3本

縣勢調査を行ひ

復縣の施政完備に努む

の送迎會

三)集合後醫儒閣編成に佐る點と警口小學校庭に集合する事と警口小學校庭に集合する事

面 熊院五選年記念被書に野し最厳語 寛徳されつとある満洲部年訓練所

鐵嶺より参加

奉天省公署民

政廳移轉

奉天を騙り

た能能日召集が送さして左記五項に職員の非常召集を得ふ事さなつ

とれるにつき一般に利用されたい

電話を開通せ

概は此の際野岸高級受能の意味に 人心の強緩を示すを恐れ替口智能 経近群もすれば事なきに駒れ窓に

警備非常召集

北滿さの電話通話は從來不可能さ ン、吉林、銀紫間の直通長地震のれてるたが今回緩緩局ではハル

營業開始

北滿直通電話

さらて緊急的課題がの白香園氏五風城縣警務局故丁警務課長の後任

新住式房店郵便局長上野幸一氏よ

日附任命された

警務課長後任

上野新局長の

歴史書に野し外務者から整備補名に其申し書力中のところ十八日

海城神社の

さの電報があった

か を ふ 質販 を 通 し て 宜 し く 質 地 郵便 局 長 な 命 ぜ ら る 御 指 道

氏會は勿論居留民も領事

してゐる

備充質資金の補助問題を外務

鐵嶺警備に

憲原城が兵分遣隊長憲兵軍曹大重。

他日滿官民多數の見送りが有つた土地に旅立つた軽頭には鑑智地方事工地に旅立つた軽頭には鑑智地方事工場に放立った軽頭には鑑智地方事工

他を見學のため十九日來公一次二千金小學生九十名は農事試職場其

見學團來公

下した二十日午前十時五十五分着十日驚曜後の第二十二列車にて南

路局は今回山海圏に本山鏡路局旅養生するやも計り継ぎを以て同鏡

犬童憲兵曹長

の出發 局長

格書であって其の熱情さ純常さ 人格書であって其の熱情さ純常さ あるさ

なは該鐵路に如何なる事故が

爾には米だ服等網路局の機關軍の増加をなしついあるが、

明楼隣に移転した
事能出版處及び警察は本日城内文
一部に登録した

続さも成績頗る良好で能次

領事館出張所

處を設置山海關に辦事

H

補助金

奉山鐵路局

は中根領事館出級所お低字井器長六時廿五分養が軍にて來低縣銀に一氏は十八日夫人同常にて午後常一氏は十八日夫人同常にて午後

山田校長着任

調查

小學校の家庭

店

不完備のため本年線工費 園のアールでは液酸に過ぎ 関のアールでは液酸に過ぎ

中である

東北無電臺と 歐洲との通信

差當り名古屋を經由

兵分遣隊長代理さして着低せる前任せる権非武夫氏部に新に摩城郡

影響を持続した。

| 大振賞せらめて二ヶ月の鎌足で三菱網谷軽理保長の三組に分け

追

肥

0

氏は十九日着任各方面へ挨拶新任旅順郵便局庶務主任鶴岡

電響さの通信は清洲関連監問題さ 電響さの通信は清洲関連監問題さ を対したが、監験洲通信際始のための方法により解決され転談報覧 始したが、監験洲通信際始のための方法により解決され転談報覧通 によつて監米通信を際。緊張教院中であるが、近々優等か 信の開始を見る事さならう、耐密 での通信は清洲関連監問題さ 電響さの通信は清洲関連監問題さ

運に際して土地の存志の希望によ 地野破第二十二點除が伏見福荷より 安原氏轉動楽婉慰兵分 稻荷神社春祭

「模擬店を開いてお高におでんを 十七日午前十一時より執行、社前 ★ 十七日午前十一時より執行、社前 ★ 故首相追悼會

品セー

友の會の不用

を関いなの食具態は彩底性高の合 を成でかなり無駄な世話がある屋 内では洋塾、和塾、衣服は洋製、 内では洋塾、和塾、衣服は洋製、 大型の大型の食品をはおいるの合 を変なった。

惠まれる小河童

奉天の兩公園兒童専用プー

近く工事に着手する

成居店小學校では中條校長外職員 民意情の鮮を進べ以て追悼者を終 主 等を合理化し総測化するさ云ふ弦なり観雑な些酒を密んでゐる、之

るから知れのさ

日本館が智教の奥識を修得した大生流線倶楽部に譲渡會を解修氏は 線主要地に於て譲渡をすることを工氏は消線會社の依頼によ 本間俊平氏 五)安藤とな子(四二四)の三ケ五)安藤とな子(四二四)の三ケ所で取扱いま、四に會場共の他の所で取扱いま、四に會場共の他の 時公會型に放て不用品をおさる 動の製作品を使わて不用品をおさる會 がいさ能識が要セールを開催する たいさ能識が要セールを開催する を呼込期後は二十五日で飯田しな 本間氏講演會

講演會

は漸緩の排職で液線温暖中である信仰の像人と稱される本間後平氏 内科外科性病科

智城町三九(百隆町通) 田辺病院

が世四日午後急行 が世四日午後急行 り着速直後から一 を順はすここになるやも知れねさ 都管教育で午後三時から一階総話・り着速直後から一般総人のために 催了さ、海時間の許す も知れわさ

行二十七名來公各方面の觀察をなの列車にて滿紫觀察大阪實業際一

後二時十四分費の列車にて南

學校からた記の如く乳女は童が出 に四百米リレー選手さして速略小 に四百米リレー選手さして速略小 日繁後の海軍記念日二十七日の正日繁後の海軍記念日二十七日の正日繁後の海軍記念日二十七日の正日繁後の海軍記念日二十七日の正 兒童選手赴奉 海軍記念日祝賀 ぎやかになって来たが、

識

一八日午後五時二十分頃の木町三十八日午後五時二十分頃の木町三 福田、高田、織吉、蕁五水上□古賀、蕁五玉武▲女子蕁六年田、森島、鈴木、出てるこさになつた

オートバイ轢く

がオートメイにて東洋艦後より昭 和麗方館へ疾走中抗較前方を歩行 中の教養町四〇紀殿高女生徒大利 青術全治約一ケ月其他麓高女生徒大利 「大柱幸は石痕腰部」 「大柱幸は石痕腰部」 「大柱幸は石痕腰部」 0

異な會談の上正午午餐を共にし当事を開発記章大教授大井博士に

いため二三日延期すると

經濟調查開始

◆北浦の戦闘男士三十三名は十九 日の特急で観測器制度機能に入 日の特急で観測器制度機能に入 で高泉頻繁場まで頻繁さなった 電影を関係であったが過日を容 した研究は連日の牧客 した研究は連日の牧客 した研究は連日の牧客

本職縣に、川原氏は吉林省繁安縣
十四日階を以て蛇井氏は監視谷
十四日階を以て蛇井氏は監視谷
・一四日階を以て蛇井氏は監視谷 設備の種類等を記し又は電話で の所感氏名さゝもにその目的日 展もまた上壁とてゐるが六月三四 展も際原小単校に於て第四回注述。 は野犬ご看像し饗祭するここがあ 竹井氏は昭和六年十一月、 院指導配さして軽低を配どら 許可なきものは使用を拒絶する 職寺布教所に於て宗瀬降遊祝復野原院佛教婦人會は二十一日本海大 ▲日進町三 木下検夫氏三女住子 を制限の使用 開原美術協會は逐次會員増加し技 防注射施行 二指導委員榮轉 宗祖降誕祝賀 を所で今回の軸低を聞き衆皆 ▲除興午後一時より▲接待正午本慶議法要午前十一時より▲接待正午 洋畵展覽會 開原美術協會 由使用に任せて、従来放

を語る座談金

てよるり

ビードはつか、つつつか。

定價五十錢(選料)半年稅共之圓張替東京二九三七番婦女界社

?

お隣りも

その叉隣りも

断然!

わかもご黨・

お向ふも

満取した食物をよく消化数種の活性酵素は、 體内 胃腸細胞に賦活して

1 ヶ月分離わかもと

+ 乳見なれば二百日量・満一年なれば 約六十日量になります。

東京 英雅と育見の音 振音

即ちやんが 僅の間に 建者になった 難わかもどで

ò

景化せんさらた農民決死隊の一見方面の變電所を襲撃し帝都を

な務時機の手により指示版を養せ ・ 一 からと脊髄・静に神送、田畑被事 ・ のを受けた後、二十十年前十時四

愛國第二十號「朝鮮號」は二十日

愛國機『朝鮮號』

影談にが、目下の戯四名の容。 1880の選走に関しては一塚語の選走に関しては一塚語

長春署大活動續行

摘された一味容疑者の自白により何等かの端緒を得たものさ見られ、響心に関東際で態語連絡で指示を解ぎ、称事を散脈八方に起らせてゐるが程は長春警報署で建との重大手配を某方面から受理したもので、千葉高等説氏、厳判引法説氏は蘇

で、できては、ようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、「大手配を某方面から受理したもので、、子楽高等地位、膨光中の地域である。「おが『大連に潜伏中』は、二十日午後三時ごろ可認、高等展保が事の非常音楽を行び散然物べしい大活動を開始したは、二十日午後三時ごろ可認、高等展保が事の非常音楽を行び散然物べしい大活動を開始した。

動を開始

を表した。 をました。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をもた。 をもた。

夜に入り更に大活動

値とてゐる、右は農民決死隊の一内の炭城縣人につき片つ端から内

警視廳にお

倉館に然て開催された之の通り廿日午後一時から

昨日審查會の表彰式

自の解を述べ次いで審査委託長浮

一覧〇〇〇C(*)は去る十八日標の「東京二十日報】 養電所襲縣隊の

(可認物便繁殖三期) 春深き金州城外

壯烈なる白兵戰

全滿靑訓演習第一日

電園の鹿がお産

指揮の第一小院搭乗者は翼を飾り 大尉指揮の第二小院及び栗本大尉 大尉指揮の第二小院及び栗本大尉

お子さん達に大

た三頭あるさって

ト寫真韶

連尾要會長、松大連

日歸飛行に成功

島

研究

チャプリ

学館山登の演車航空隊の一五式飛送館山二十日登】十九日午前一時

三

合
河

で

に成功し午後六時四十

防弾着の

お陰で

観射されて無声

待命仰付らる

撫順署匪賊檢舉



愛國號射撃の 線に向った宇都宮〇郎は十八日午

明出して來哈したロシア人の談に

を終て後順は搭乗者を排棄したのは 宮長海都線で五號機を射撃したのは 宮長海都線で五號機を射撃したのは 宮長海都線で五號機と対正の北六 宮長海都線で五號機と射撃したのは

池の平山火事【高田

三七六六電・回丁三男速浪連大

8

本各

地名産

物

渡澤明治氏結婚 流經

着荷新

オレンジ モン

シルツブ

料原

ムーリクスイア

.7

縦である」に出

が また では に を でん さなった は かっこと ボク たけに 優野 後期 かっこと ボクホ

を受扱を建した。 を表して行方で明であった元曲順長 走して行方で明であった元曲順長 走して行方で明であった元曲順長 を表し、変

世團 附張營長

好評の大滿洲

國展

であると、版で外套には煙草の であると、版で外套には煙草の であると、版で外套には煙草の

八日南大平線から七百の部下を軽

バイル人の服装等に見入つ、避國祭前後のスローガン、避國祭前後のスローガン・避國祭前後のスローガン



大山通の

0

00



子供服





0000

大連市中央常盤橋 大連市中央常盤橋 大連市中央常盤橋 大連市中央常盤橋 大連市中央常盤橋

ロ新浦洲國建設に方り滿豪経濟調査に開する一 鎖 街 切の御依賴に應じま電話代表七一五五番

わが海軍機の新記録 (ハルビン特書ニ十日韓) ニに潜伏とた酸の認識に抵抗したので我野郷及信公司内に際れた敵約二、ニ信公司内に際れた敵約二、ニに潜伏とた酸の認識を行つたに潜伏とた酸の認識を行った。 敵の諸漢を行ったが スクリーン(映寫幕)の 上でばかり見てゐたチャブリン君、人間ぎら ひのチャブリン君まで 情憬れてやつて來る程 日本に成り終せた。あ らゆる方面に於て國際 らゆる方面に於て國際

も英語の國から

內容見本進呈

東京麹町富士見町五

ウドンヤ、小カフエー やマ有り

市内目披の場所歸國の 大食 道樂

日本語たり世界語たる 英語を知らないでは、 香々の生活は累實たる ものだ。學べ、英語を! 「本語で中學卒業の實力を 「本語で中學卒業の實力を 梶

田 小兒科醫院

電話(六八二〇番

ト用化粧箱入石鹼

サン石鹼

ボルベット會社 ベルベット會社 ベルベット會社 ベルベット會社 は開第一 湖東 地 ハープ洗濯石鹼 學號 商

四至急申込を挙仕的職員を求應演打幅送十歳間縁影 夏家河子 3 \$

合好通一筆質切壁取携へば

城鄉市連 洋 和 京

組立の簡單な値段の安い

慢展赤ちや

軍に引渡された【奉天電話】

各地內譯

一萬三千人見本品

戦日あった

人る苦【長春電新】

建國運動會 愈よけふから始まる 旅順の建國祝 になったが表る十五日の日曜日に をかれ行電車で價格二百七十国 の金時間をスリ取られてからぶ インキな父を入も昨今非常に 情報でござる。 るやうさいふ念の入ったスタイ

賀運動會

師なハッしてるては金峰歌ざこれを見た日の窓い某者が優野歌なスラルなかったのはや思想歌なはが、僕はあんなにメポンのながは

六二六三条・六一七四站を

特殊流經期卸總本店 あ上性 乗性 具卸總本店

尺八上達の秘訣口無代総里す本金属特の新信指帯で尺八が三ヶ月で上達す

大日本尺八音樂會

・ 各商品卸も扱

ふ希望者照會あ

母乳件

代用品

らの触りを然ぐらしく

貌 六 十 六 百 三千九第 ら行けご買ってくれたチューインで、よらぎが汽車の中で食べなが 空臓がすぎて腹部に縮みを慰えた

きやんちやんこをつけた四十金の がい大機焼のやうな姿さ化した。 がい大機焼のやうな姿さ化した。 をかるでんこをつけた四十金の

のやうな花が下草に監々と呼いて、總でが明日となればこの陽の如く こ既に四時になってゐるのに、ま 主に彼紋を織りなしてゐた。 まで、若葉なもれる陽の光がその がしの記憶が睫えて来た。マリア なに腰がおろした。腕時間か見る はきつさなって、全身の純粋を踏 がしの記憶が睫えて来た。マリア が上の記憶が睫えて来た。マリア が上の記憶が睫えて来た。マリア が上の数の表がその がしの記憶が睫えて来た。マリア が上の表のに、ま はきつさなって、全身の純粋を踏 はきつきなって、全身の純粋を踏

育見成績は多數の優良見を育 で最も適合するよう製造し で最も適合するよう製造し であって、今日までの であって、今日までの であって、今日までの であって、今日までの

お子様にもお與へ下さい。れて居ます、どうぞあなたのというがあるながと喜ば

意 ラクトーゲンと御指定下さい 開選えぬ様必ず

店支達大店商卯乾 七六組員山市海大

てあげました。

はきつさなって、全身の純粋を眼む人の足音が聞えて来た。マリア 奏指揮字質 神美 津華▲宮蘭韶東(朱定)法県博士声田均▲鴻渓(未定)法県博士声田均▲鴻渓(未定)法県博士声田均▲鴻江市田均▲鴻江市田村田村田村田村田村田村田村田村田村田村田村田村田村田村田村田村田村田

(日曜土)

京了〇人名

大生堂

强く育てよ

育見は

親の義務

0

孙州

满

募集規增 けふり 放送

報

不安なとまりで野心配の方、他の無効素にとなった。 一年で野手紙で御甲越下さい変しい説明書を無代で砂密に差を敗しお困りの方に変ねる時に最都に乗を失敗しお困りの方に変ねる時に最都に乗を大敗しお困りの方に変ねる時に最都に乗を大敗しお困りの方に変ねる時に最都に乗を大敗しお困りの方に変ねる時に局部に乗を大敗しお困りの方に変ねる時に局部に乗を大敗しお困りの方に変ねる時に局部に乗を大敗しません。

けるす

ನಾ ಲಗು ಟಾ ಆನ ರೂ ಲಾ ಲಾ ಲಾ ಲಾ ಲಾ ಲಾ ಲಾ ರೂ ಲಾ 那支 古 今般北平より多數入荷致しましたジェなものハデ **尙トンボ玉其他目新しい土産物も色々と参りまなもの御好み通りのものが御座います** した 刺 凹 交 公 同 甲話六七四八番

頭腦過 勞者 の種 の必携薬 荒川の

本組 東京 -泰昌公司米部連製氷特約配達所

番四一六六話電

生殖器障碍 露院

教育

思い切り

又おヒゲソリ後にも

平.80 平.50 平.45 平.30

いつもコロンをお使ひ下さい

ヘチマコロンの特長です

関使用後サッパリするのが



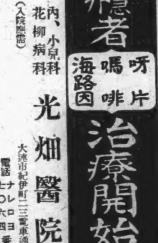
8599

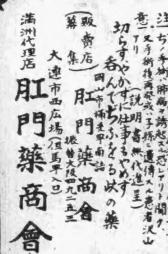
其正独 健康増進には (松の季)

所達配約特



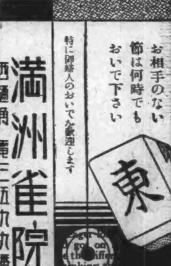
滿書堂文房具部





十四二

私点や備前の同山生れ



野想

3

三歩前に歩み出した。が

南京

虫

(290)

方に近づいて来る音のみ聞こえたにあつめた。が、変は見えないで

新宗特許

(N)

るた小島がマリアの前に下りて来るるで、周盛の柳々にさへづつてでんで、 自然の生活の引

彼好薬は堂の記人に観んでゐるの の好薬は堂の記人に観んでゐるの 黄色い、野の灰色の、盆の三倍で中に頬白さ山雀が突つてゐるのは中に頬白さ山雀が突つてゐるのは ら桃色に、薄れて、空の青味に吸が焼はそれを焼さらて大第に赤か が西から東へ、つひには仲空一面のた。するさ、その後に紅の夕焼 の葉の間から眺められた。が、西にのびひろがつて行くのが、樹々

こぼく呼んだ。この 森の中で

するさ、その時間がけなく様

るやうに思はれるのだった「人は に今沈人で行く大鵬が人間を初め に今沈人で行く大鵬が人間を初め を 秘密をよもうさしてるた。彼女に 自然の越移を眺めてるた。 そらて 初めて最 「誰がら。 人は誰であらう。彼女はひやりざ

年

五

審の眼を見合せて躊躇つてゐる

森の中は胖かだつた。黄色い豆。 あるらしいと越像して、再び堂 あるらしいと越像して、再び堂 のも人に親とがあた

こんださ思ふ間違いであって、萬物であった。 が、それは落日を見て陽は死る。が、それは落日を見て陽は死

問題で我々の國に於てはあ ルの権威者である。從來歷 ルの権威者である。從來歷

好中

和

七

昭

こ はなかつた。髪ではなかつた。懸ではなかった。髪ではなかった。髪ではなかった。髪ではなかった。髪で

沙河口取次店 發質元 版大

▼南京虫は洵に厄介な虫で如何に驅除するも其の根を絶すここの出來ぬのは皆様御承知の適りですが皆然のメーツに依り始めて自然に驅逐出來るのであります。

風が輕けり

8

心を呼い

HECHIMA

立内三二一八 岡岡岡岡岡 六二二二七二十 十十十十十 綾菱鏡鏡鏡鏡鏡

个 谷 市 市 市 市 季節の花は 乙女姿に似てほし 戀のステップ ヘチマコロンのつけ工台

の最良手當法

特的非費店 微 笑堂藥

間のの

强·保管確實 一第用信

呼吸器障害に

は

花

大連市紀伊町二三電車通大連市紀伊町二三電車通

有名なる 専門家侍のみくすり たつこち出血ち、痛

飽まで擧國

《東京二十日發】軍部の<equation-block>
一部の「一部であるので、
、東部に全く連ばし難い情熱を売すに至った。
「中国的を登録し難い情熱を売すに至った。」
「中国的を登録する配もあるので、
、牧野内府は二十日元老両闘寺公は會見、この

愛」後編内閣組織の大命降下か

大命拜受の場合には無局打開の質性を具備する協力内閣が組織し

望み薄き鈴木内閣

政黨から

超越

せぬ限り



性

四園寺公の態度慎重 **台朝來重臣か** ら意見を聽取 に拜謁と時局問題につき上奏御に拜謁と時一十九分参内 天皇陛下 間九時三十九分参内 天皇陛下

り政職は監督、恐どし、軍京二十日登)政友會襲撃決定、鈴木、荒木賦氏の會見、 あす御下問に奉答か 郷内閣に難する態度につき機遇し 関して重要機識な速げるも共に後 が表来し、今後の繋急措置に

の政局は急速に突定するかに見られたが軍都を擧げての强硬論は徹感に り政局は急速に突定するかに見られたが軍都を擧げての强硬論は徹感に り政局は急速に突定するかに見られたが軍都を擧げての强硬論は徹感に り政局は急速に突定するかに見られたが軍都を擧げての强硬論は徹感に り政局は急速に突定するかに見られたが軍都を擧げての强硬論は徹感に り政局は急速に突定するかに見られたが軍都を擧げての强硬論は徹感に

方この事態か

感心軍事

軍の威信さ統帥のため不祥事

『東京二十日景』倉流櫃府議長は午前十時國公を訪問、時局拾城に関して**樞府方面首腦部の意向を傳達**するさろあつた『寫更に重大時局に處する所信及び後鄰內階成立後の自己の進速問題も披瀝して老公の譲燃を求め時顾についてし種々懸騰を遂更に重大時局に處する所信及び後鄰內階成立後の自己の進速問題も披瀝して老公の譲燃を求め時顾についてし種々懸騰を遂げ食見四十五分にして静哉して直に定使騰騰に殆解した。 《東京二十日景』倉流櫃府議長は午前十時國公を訪問、時局拾城に関して樞府方面首腦部の意向を傳達するさろあつた『寫明史に重大時局に處する所信及び後繼の階成立後の自己の進速に強大政・財政經濟の現状及び特米の對策につき説明で、大野の大学の表面に関公を訪問、大野の大学の表面に関立を訪問、大野の大学の表面に関立を訪問、大学の表面に関立を訪問、大学の表面に関立を訪問、大学の表面に関立を訪問を使達するころあった『高

軍事參議

官の

任勸告

荒木陸相に留

意見一致

| 東京十九日教 | 荒木 | 東京十九日教 | 荒木 | 東京十九日教 | でる | 東京十九日 | 東京十九日教 | 荒木 | 東京十九日教 | 荒木 | 東京十九日教 | 荒木

見を披漉してゐるが、町田 一致してその留住を希望し 一致してるの留住を希望し

重臣首班の 樞府、重臣方面に意見有力

平沼、山本、清浦、資藤四氏) 平沼騏一郎、齋藤質の諸氏が帰げら 際廉電の諸氏が舉げられてゐるも、その中平沼氏が最も適任といふ意見有力で、倉富議長は二十日賦公主面の人材を網羅する强力內閣を絶對必要さいふに意見一致した、職して首班は山本権兵衛、濱瀧報音、友會聯議にては現下の顧大政尉を敬給し得べからすさなし、此際超編派的大人物を首班に政、民、貴院 そ餐 山本大難他、報野內府、倉富總長、濱瀧伯等は一瞬日來久保田思、縣山僧、木戸侯等を他介さし私々意見交換しつゝあ 既するが、既公さしても重配の意味を無視するを得す、 鈴木内閣質理に再び暗載を投するに至った(質異上より



する政策を監行し得れば紀木内閣とはがらなほ属々さして幡一するさことがあない。即ち一部は軍部の要求 は

森書記官長は十九日午後七手紀れるにつき、鈴木内根、鳩山文根、鳩山文根

一月十時まで鈴木郎において協議書記重長は十九月午後七時半よ

職では見に難し鈴木内根、鳩山女根、 「大変でなければならぬさするものは、 ないさの意見に難し鈴木内根、鳩山女根、 ないさの意見に難し鈴木内根、鳩山女根、 ないさの意見に難しむた、荷軍部の ないさの意見に難した、荷軍部の ないさの意見に難した。 ないさの意見に難した。 ないさの意見に難した。 ないさの意見に難した。 ないさの意見に難した。 ないさの意見がいづれ

根数のでなければ、 が降下しないこの見解 かかいながれる。 でないるの見解 が降下しないこの見解 なった、しかし鈴木内根 は、 が降下しないこの見解 なった、 とかし鈴木内根 は、 が降下しないこの見解 がなった。 の様なないるの見解 は、 がいるの見解 の様はない。 の形は、 の様はない。 の形は、 の様はない。 の形は、 のがは、 のがは、

【東京二十日数】後職内閣に對す

政無内閣を絶對に否認し、舉國一にても可なりとするものと、軍一

本名内閣說を強調する配もあるので、牧野内府は二十日元老西職等公さ會見、この旨職感じ、意識論長は顧思會議を贈くべく邀の鈴木内閣出現に對する態度は主人日の鈴木、荒木殿標の會見内容に刺載された部内の 將校の 反撃により著年後故犬穀前首様の職僚後は真に私販で順山、鵜闕氏さ原座して谷方蔵の懐黙につう協識し、私々默察に繋起してゐるが、しかも軍部年後故犬穀前首様の職僚後は真に私販で順山、鵜闕氏さ原座して谷方蔵の懐黙につう協識し、私々默察に繋起してゐるが、しかも軍部年後故犬穀前首様の職僚後は真に私販で順山、鵜闕氏さ原座して谷方蔵の懐黙につう協識し、私々默察に繋起してゐるが、しかも軍部年後成式教育を現て時間と政に常るべく内歐組織の根幹或に新内閣成立直後に賦行すべき施政の大概につき改裁の考慮なめぐらし、十九日東京二十日衰〕後縁内閣組織の大衛降下が確信してゐる鈴木内相は、大命拜胥の現台には瀬戸右前の首僧九里台で、甘丁・門八十十日東京二十日衰〕後縁内閣組織の大衛降下が確信してゐる鈴木内相は、大命拜胥の現台には瀬戸右前の首僧九里台で、甘丁・門八十十日東京二十日衰〕後縁内閣組織の大衛降下が確信してゐる鈴木内相は、大命拜胥の現台には瀬戸右前の首僧九里台で、甘丁・門八十十日東京三十日衰し、 の客観的情勢は直にさ

長は二十日午前八時電販に売木一くまで軽属一致内職成立支持に窓東京二十日費」武藤機監、散輸一陸梱を訪り協議の結果、軍部は帰

東める事に決定し十時酸會した

一二箇條の新政策要望

あるため、概定能が送さらしめつ、 を他の鈴木内閣の出現を騙り、総 を他の鈴木内閣の出現を騙り、総 を他の鈴木内閣の出現を騙り、総 なに機関事部内の空類は十九日鈴 大、荒木閣氏閣に安徽成あるこの説。

か打除するは不可能さら十九日朝 駅の浄化を隔り此内外の重大時局

「ハルビン二十二数】チチハル行 ・ なる機様であるが、支那無臭成職 なる機様であるが、支那無臭成職 ・ 大部様は同行せず悪骨組さ共に素実

電水内閣に一抹の喧嘩を投じた観か 事ができなかの如き雲行きな示し、 事が関いても鈴木連載の組閣を を表行きなの知き雲行きな示し、 十 鈴木内閣の 出現確信 政友會の觀測

あるが、政友會さして報告を表に新りるが、政友會さして報告を表したがらしたの無いの大倉が降下する等はながらしたの無いの大倉が降下する等はなが、政友會さして報告を持つ政友會 重臣重要協議

午前九時二十分奈良侍徒武官

おさら、大資本統一會出り下こ。 を長の依頼心を助長し、若くは自 はご注意を要もます、今まで拓展 はご注意を要もます、今まで拓展 はご注意を要もます、今まで拓展 はご注意を要もます、今まで拓展 を変更の農民を搭領して、地を襲す を変更の農民を搭領として、地を襲す あんさするが無き参楽は、明かに とのは、縦し態感能に資本を強力が開いている。 であったこさを容積の光学が ものは、縦し態感能に資本を変換ない、そ もで、直ぐ地型に出立てられ、 たどけで、直ぐ地型に出立てられ、 たどけで、直ぐ地型に出立てられ、 を動き数常を離ら ない、その活用に就ての総轍ない、そ ものは、縦し態感能に資本を変換ない。そ ものは、縦し態感能に資本を変換ない。そ ものは、縦したのとが、 を動きながあった。 ない、その活用に就ての総轍ない。そ ものは、縦したのとが、 を動きなが、 をもなが、 をもな

調查團 叩
あ
す

反臨時 氏總裁 金の力量を大方針を示し、
動心無い一局を代表して 総木新郷一職郷食神に同二時三十分総會した、之に一概の養難で開除下直蔵三職、織いた、之に一概の養難で開除下直蔵三職、織い

時局問題上奏

大角海相参内

「東京二十日費」後任總裁な決定 すべき政友臨時大會は二十日午後 一時より本部で購會、高橋、岡崎 課月、小哨谷長老を初め答願館、 課月、小哨谷長老を初め答願館、 新田、山口 その他 幹部、所 五大政

以策を表明

した依つて鈴木氏は浦場の 民生活不安の

難破船同様

難破船同 海軍巨頭

0

新ひ、終一時間要識の後型海県1 寛治大粉は十九日午前東東元師な 東京二十日登)軍事参議官加廠 重要協議

臨時議會 二日召集

內閣固執

附き奏請の場合には辭退

重要総書なれて、午後は自宅で真修参

內閣進言 移植民

0

滿蒙

に就いて

せん、かうした揺後策の結果は、

交響的練習曲

序年の曲

唯 だ必要なのは現地の風土

鈴木總裁の演説要旨 三、外交の刷新 明するを要す 二、國防の充實 維持の爲め順防の敏陽が許さ

長、武官及等と飛髪協議が為らつ一木宮根等の大官出仕し、同九時四十分には実野内府髪内とて情能

園公を訪問して時局に闖し私の 考へてぬる點もお話し、又公か ちも承つた次第だ、勿論如何な な事を述べたかは申上げられん が、時局は質に重大で具困つた 事であるさいふ事は関公さ一致 であるさいふ事は関公さ一致

決るまい 鈴木政友總裁談

恐らく今日中には何も確るまい。 度は相當強く園公に響いてゐる をうだからざうなるか解らぬ、 理部の態が重臣方面の意向や、 軍部の態 園公邸附近の

警戒嚴重

り 脈に全員等線を用意して能管響波 史楽器線で南下。 「東京二十日景」駿河峯の園公郎 県歌に宛されたか大総高橋の の外は老公の入邸以來奏部の殿波 里廊山に確黄の隔が降った、不明 の形は老公の入邸以來奏部の殿波 里廊山に確黄の隔が降った、不明 の本としての馬野一町穏の間に西 東郷の西部駿郷美味あり、電 東郷の西部駿郷美味あり、電 暴風雨の中の時局、濃彩中の政 安全

個民を説いて居ます、

や早の

用、即ち農業原料の加工設備であれてお刺戦を興へる者は、農産物种の加工設備である。

で居る、秘熱連路し難いので居る、秘熱連路し難いのでは、政策の一は う取紙には通らなくなつた。 車板でも魅力なら悪い、なんて議論もさせ、 単板でも魅力ならよい、協力です。 お局政策なな網練でる家園一致の はないか。 で大成したセシル、ローダすら、長にその資格を分類でることは出来によせん、南阿梅氏地經常の偉業ない。 大地はの結

共に成め欄紀粛正を聞り純潔の四、政界の浄化へからず、

政友幹部會

をを承認、大いて協議者を開き新建。 ・ 類序を決定し、新建裁の挟縛原稿 ・ 変響につき同様の決定を第き新建。 を承認、大いて協議者を開き新建。 ・ 数につき同様の決定を第き新建。

▲全國經濟調查機關聯公會鮮滿處 察園六名 同上

オリン

ハロウ! 英写の

夏が來たか

おひ時局に野する軍都の態度につい 後、腕布伽遮波の小泉策太郎氏な及 の小泉策太郎氏な及

常鹽澤角兵衛 福唱ホーム・ウィドウ

伽羅先代教竹本 藤春春 松尼太夫

0 部

關東廳警務局

飛行機を贈り

た二十日、旅艇運動場で趣画殿 は野球場上空に悪なれる、又一に色増した岩栗の縁カラリミ雲 れた、同十時十分突如飛行機一

旅順建國祝賀運動會

ノンドには囲脈たる日滿間族、

の低空飛行。となって、現はい

昨夜來長春署で

たのは警察の手入を逸早く知って逃走したものゝ如く理経連した四名の答疑者は今後蝦事館で殿職べのれた標線である。因に〇〇は有書類によって察天〇〇〇〇に在ったことが明白さなった。なほ順犯人の一人と目されて、 長者署では衛背取調べたが〇〇〇の所持品中には各種往復電報、信書、書類多數あり、相當認識書類さなるべきものが要見 100は存書類によって終天つつつつと語って、香類の飲わり、概能設施書類さなるべきものが受見で助職べたが000の所持品事は存職後電報、信書、香類の数の0000のの一名を逮捕で進出、彼の所持品多数を押收し署に引揚げ取調べを開始する一方更に萬合「摘網を張り、一方高等、司法の各刑事は市内富士町六丁目萬合公を包圍路「摘網を張り、一方高等、司法の各刑事は市内富士町六丁目萬合公を包圍路「摘網を張り、一方高等、司法の各刑事は市内富士町六丁目萬合公を包圍路「満網を張り、一方高等、司法の各刑事は市内富士町六丁目萬合公を包圍路「満網を張り、一方高等、司法の各刑事は市内富士町六丁目萬合公を包圍路

あるものもある機様で取調べ進行で共に更にその内容その連絡者が利明されてゆくだらうで概られてある《長春電話》 によって巡査を慰の警戒の下に長春観事館に押送されたが積極験者のうち膨出として 押送取事 名は長春輩の欺鵬べ一般者として電光程火能に

浦鏡警院に收容中だが生命には別る及び態援地方人一名真、際即時 覇権を目差し

オリムビック豫選出場の 滿洲代表選手出發 陸上競技職盟代議員會並に 女給が前借詐欺 ト氣になつて

新販が低騰され、奥場行の安給さ 者が選出してから磁器な安給の野さ 者が選出してから磁器な安給の野さ 奥地行の爭奪戦から 無常山縣な○○軍が占領し、 大チハルに下車十九日天野○圏の サチハルに下車十九日天野○圏の 東窓。 柔道巡回

歌匠委託さ會見し部大眠の吹革 強硬なもので再びスポーツ駅に変感がの対歌は率振して十八日午 る場合は聴識より膨速すべしさのは今風帝大眠から掛げられ帝大 こゝなつた、若も之が替れられざ東京二十日發]スポーツ学化の 家を内定近くリーグへ提出するこれがで

賊こ應戦し

五名射殺

撫順署の捕物

容れられぬ時は脱退

に改革案

行する コレラの 檢疫開

就ては軍司会館に一低することと中に本庄軍司会館に一低することと

満潮(午前十時四十五分 「年前十時四十五分 「年後十一時一時季

天衛站院

率接順部常高等

干潮(午前四時十五分

今日の

二十十年前四時十五分ごろ連順書家はかれて探知せる呼吸歐一味事家はかれて探知せる呼吸歐一味事家はかれて探知せる呼吸歐一味を動かれた。

建國運動會

今夜選手出發

船舶に

に十一名も出てるるが、今年は上一郎つて硫藍鰈の説謝ありたる事師 四月廿六日より五月八日までに既 九日午後一時頃から緑三十分間に上棚壁らで四月中観より窓行も出も 【岡山十九日要】岡山地方では十上窓が廊におけるコレラは本年も 【岡山十九日要】岡山地方では十上窓が廊におけるコレラは本年も

金百圓は一六九圓五〇段

前途に就て

堀內文次郎中將講演會

明夜七時半協和會館で一入場無料 後 催 滿洲總支那事變傷痍軍人後援會

米)発恒木應(柳高牌)の六選の

辯護士會 見込み【撫順電話】

が質情に漸は内感みがあるさいふ 近~改稱 會」と欧麻す

外派館田館吉選手も同行した

て表詮衡で

に見舞電を養したが、同大將は五

サーカス 名は二十日大連録うちる鬼にて輸察中であつた大阪市議一行二十四家中であつた大阪市議一行二十四 新大連汽船社長安田征氏は二十日 年頭には谷が戯の名土多數見送り 単頭には谷が戯の名土多數見送り 大阪市議歸る

本社就一周から販売者家族および版 展長敷無賊金を郵集中であったが 様を告たので都較事長がこれを振 大力出を大連養の急行で赴窓し た、氏は製屋監EE執事を同常廿日 神にラークソンネン戦さ結婚した。 長距離王ヌルミ選手は十五日秘密 國の途についた 本社見學 二十日午前小川 又ルミ選手結婚

記日程の下に沿線素道

本道 郷町 指導な 指導な

指導

社員會の献金

江戸時代から ヒゲタは

激増しつゝ 激増しつゝ 「最上醬油」として 歓迎されました。 ヒゲタ」は 毎日積出される 汽車やトラックで

醫學博士 **澁谷創榮**





滿洲總代理店 大連 日本賣藥會社

(那事變線展軍人後提會是個內文一次即中將は二十日) お出版に先立ち高極後夫日本代表選手経動表 変國心を涵養 傷痍軍入を慰問 委員會に出席す 來連 一前八時大連縣 は大變意義ある事さして喜ばし、天、長春等ではわが際疾長によい事で一時的のものでは、流溯関戦の延騰者も見舞ふ珠常によい事である事はとせ受國のは上海の戦魔者も見舞ふ珠ではなが悪疾長のくさも四五十年の繼續事

は除り大した 大連管内の 貧困兒童

は山脈疾所で養見檢細鏡檢管の結果

ゆいすり

火傷、痔疾等の大妙樂

春樓以所計可申込家鄉別書堂五月卅日海 平田自動車研究所、運轉技術科、 平田自動車研究所、運轉技術科、

修繕技術科

電話二二五二九番

田

自

いいはとうとうできていませることがなられていませんで

海線復舊 大汽の天津上

大寫眞帖 三月一日現在在籍見意動一萬二千の日本人被等學校飮歴史意に本年の日本人被等學校飮歴史意に本年 一百九十五名

地でこれに充て本月三十日城治出 大殿でこれを復態することになり天津一時間のため一時際止してるたが今

筆生

三、保護者會一二、個人寄附一所抵五〇、被服補給者市役所抵五〇、被服補給者市役所援保護者會三八、食事補給者市役所援一九一舉校用品補給者市役所援一九一

た的心臓腑大器に黙し我社では直 白川大將禮狀 落下傘新記錄

新能像である。 二萬四千呎の高度に達した時深下 で降下した、漆下般降下の世界 十九日安』スマラ

安田柾氏離滿

大連取引所錢鈔信託株式會社

聚第十四條二條少昭和七年六月一日 目 少定時株主總會終了株式名義書換停止公告 智字 達成教授

電八六七元香 所の著名薬店に有り 囊 元 真下政二郎商店

松村寬治創製疲勞後に出血後に是非! パミン 商 車中に同中院を訪へば出事が口調で語る

また。 は上海の戦略者も見舞な建定であ ・ 湯州圏幅の貨働者も聴聞し都合で であった。 と称のではわが映解兵は勿能

會に臨み同夜再び娯天に向ふが続きに一液二十一日協和會館の騰渡。 耐髪前に耐髪し同是官邸又は慰安

白

t

ズ

服 夏 供提別特 單 黒カシミ 背

(スコッチ・ボー ラー十種)上下 廿九五圖均一

ャ背廣上衣 本 2 別仕立 假離付別仕立 十八画

夫一士儀五月十日發病急性肺炎にて大連病院に入院加療中の處薬石効無く十上候 通信機は五月二十三日午後五時より獲津町大平寺にかて戦に対此段御通知申上候 乗売が高満町六十三番地 北川 壽 惠・子 親 版 友 人一同

入院室閑靜

前校學小日春町園公西

洮昻線で南下

順の建



百三百面面

同資

ニ等一

五十国

則、まして崩れ行く徳川澤府の正説正線減道無念流では発祥の

着州 | 後亡 六投稿は一切返戻せず 六投稿は一切返戻せず 六 満洲日報社に於て所有する

有するものさす。八、應導原稿は「「滿洲日報社事業都定」六、入選作品に對しては逾削する事あるべも、七、入選作品の版構は六、八選作品の版構は一六、八選作品の版構は一次、用紙は半級或は原稿用紙を使用し、片面のの使用のこと 三、投稿

に吹込む

五月三十一日

入選歌詞はコロンピア著音器會社に於て

大田分一町十銭

芳亭

將日く

た病組でものいゝ内に

にもきょめがありますので、使用人は**勿論だれ場句。この治療機で数**はれました、使用すで、別人に有難な迷ひさ申しませうかあれるこ

0

家女將日く

日野

英米獨

治療

▲歌間の内容 一、大連情調を巧みに表現すること(何と問題 無 規 定 一、一名にて数籍應募することを得(頃と一等毎週、形式、調子は自由にして何等の■■なきこと 四、形式、調子は自由にして何等の■■なきこと

に向ひました。大腰塊とく命の恩人と感謝して居ります。なかつた幽氣が、治療機を求めて数同治療したさころ、全く快方なかつた幽氣が、治療機を求めて数同治療したさころ、全く快方ながての様差の冷へ、除程度しる 警療を試みてみた腰部から下脚に

海產物間屋

西

慶助氏日く

時間

午前九時——午後六時常整小學校前

宅一回金五拾錢 往一回金臺屬

(但で野一色先生は右の倍額)

呈進代無書明說大

生回析治が者用愛萬十二機ド

込申御宛部論美部上記論性の

慢性ならば一週間で必ず効果あり

も使用でき

◆一家に一臺世ひ必要な

濕布を綜合した醫療界の大革命機

急性ならば一兩日

土不建築請負

辻

吉太順氏日く

商會移動實

T

概に響いたのは、正もく診験の待てツ」

今途。修樂に向けてゐた大刀先をいだやうな面に灑る鬼繁な験気。

●だの不利な様ってない。

武道の機画を重んじてか、

れた人のやうに、ひた押しに前へ ない、 兵縣後の懦天漢二つさ息込

て居る人に知らせて、自伽共に幸福である。

で居る人に知らせて、自伽共に幸福である。

で居る人に知らせて、自伽共に幸福である。

で居る人に知らせて、自伽共に幸福である。

滿洲日報社長 松山忠次郎氏日く

來る

日までの

魁病者を續

す

者を續々全快の短期實驗治療

F

治らぬ人に一ぶく

店實験師の出張に際と、味に病人の好講を増んであると店實験師の出張に際と、味に病人の好講を増入であるけ、窓庭にも十餘栗は備へ、子供の氣管支力をであるから、家庭にも十餘栗は備へ、子供の氣管支力をは、熟典であるさ云ふ見解から、實傳做ひな私が、無いに元六十華は壊めて居る筈である。實傳做ひな私が、無いに、一時は絕認さ賞言された夢の子宮がは生來健康だが、一時は絕認さ賞言された夢の子宮

は一服の安楽散で消ゆ 露は旭光で消へ、痛み

周次子等口換監督松浦與三郎氏日く

見

よ

連

愛用者

部が告白

軟喜と

3

奏効

如き本機

0

偉力を一

突破記念

大連普及

化大運動

五月の最善加療

がが

篤嘆ら感謝

0

嵐

肺火風、

常

自建

室

針灸温泉電氣つけ薬で

此男先回作業の炒めに、

海影

(150)

發聲會社

▲ 獨吟 过周一、濱田周洞、松山忠二郎、有馬邊、高木晴彦、館 本實然、三田芳之助、松山つ21 本實然、三田芳之助、松山つ21 本實然、三田芳之助、松山つ21 一種子 忠度、牡若、花月、絃上 解妆、船揆慶

建設の

● 外) 延

はりを図る・Pチェーンに一野村のちれたが、同社総が両本建造氏は保険書の完成と共に愈々かれては機関である一大景葉映画株式會社談立の計画を其態化することになり既に小田悠徹線甲央械闘都市なり既に小田悠徹線甲央械闘都市なり既に小田悠徹線甲央械闘都市なり既に小田悠徹線甲央械闘都市なり既に小田悠徹線甲央械闘都市なり既に小田悠徹線甲央林闘都市ない。 オリエンタル映畵社の第一顾信品・オリエンタル映畵社の第一顾信品・小十郎氏か 地に近く撮影所の建設工事に着手に購入してある約二萬五千坪の敷設 日午後一時から郷舎町會所にて駅 低、番組は鰯通、忠茂、雲街山、 福王會月次會 彩る廿

オリエンタル映画株式會社、撮影する専になつた、新會社の社名は 市 ・ 支配人「今朝わたらが戦な際いたからだ」さいふ(この人が戦な際いた)は「不思いなどの人が戦な際いたが、いたは「不思いなどがよい) ▲ ※ であって先づ明第へコーヒー採 本中央戦いたのでは、「人生彩内」に松竹二本の

所名は相越撮影所さなるほどで

がいるのでは、名門の能りも、 う武宗の作法も、名門の能りも、 を表しい技前の総職、も の作法も、名門の能りも、

七本を

部新設御披露

日

醉

い時などスグに たい悪解告し たい悪解告し

◆キキャックルグ サメンバ

にとってでは実際にある。

必なハウ

一九日公開

が出り、一方の時にある。

大井正夫・小川

梅若緑葉會の 春季大會番組

奮つて投票あれ か興味百%!!

浪

華洋行特製

斷然

大連夏帽界をヒ

ツト

する

價<mark>麥</mark>帽

熊の出る開墾地 アメリカ航路? 大國の波止場か

ます大連實業、漸俱野球分なき特選麥帽子を与いた。

雪子主演

廿一日より 勢力富五郎・草間實主演

演開三日間により

▲六月の鎌定番

頭。大

育場。メンカルボード対院製手角 手軽に出來る文化刺繍講習

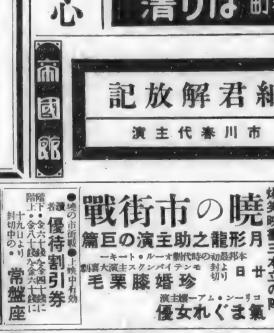
『ど講習することになりましたから一座製作品御熱忱の上御習得下さる練御希用が出來ます、今般支部開設披潔の為め特に手紙材料一式取揃へ破天売の割り締の特徴に基本艭に少なく應用は凝く如何なる初心者でも簡単に覚えられ直

化刺繡專修學院滿洲支部

リは 町狭若

放解 君細 演主代春川市





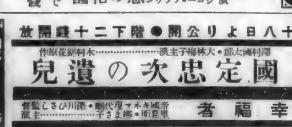
服

親

肋膜炎痛 送急代無第次 **今週**はワ すそして料金は四十銭 十九日より

即三清赤河







大河合者の特作品

監設督計 横井建築事務所 ココ 事事 學士 模 并 議 介學士 模 并 議 介



(武正革ビン皮・ゴム

細り

た奏帽子」を御りた側の一種を開発した。

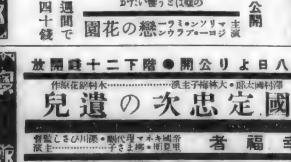
付球

賣

資出し期間

長隊聯賀古 ●平一殼貝





岭上に放置の

荷車の處分

近く寶廣場收容實現

~警察の力で

商工議の改造 會員の範圍を擴張大飛躍すべく 大繁榮策 1-

学にして三月こむ。 は著るしく減少し三千百九十五個 は著るしく減少し三千百九十五個

綿糸輸出高

鮮銀發券高

益々收縮

四月中は激減

てぬる、その中輸出先の主なるもでなる。 その中輸出先の主なるも

四月中旬貿易

百五十個、紫天三百十個、長春、のは大阪千二百六十個、甲谷陀六

近く具體案を見ん

豆粕生產高

三三、三五九、〇〇〇 三三、三五九、〇〇〇 一一、六三五五、〇〇〇

数】五月中旬貿易左の

※る八月十七一 2000年の 大が石は音響料の収入が目的にし

來る八月十七日より首

大連移出入米

四月中統計

依然入超一千餘萬圓

五月中旬成績

連総出入米及機統計は左の如くで 大連來般同菜組合調查=四月中

萬九千九百四十九以減板は四千

記長は催田大連輸組理事を訪ひ、

に過ぎず、會社が館に属する きの態を進め覚現する名の中職人側は億十餘名を繋があったが近く何等か人側背真張く、その常識はもこの問題に関して協議があったが近く何等かがあったが近く何等かがあった。 齊克線特產滯貨 六月中には一掃

滿鐵視察員の歸來談

大連油房職合會の五月中旬におけ とて要標期の接近するに健い高波 中一日 九五、〇〇〇枚 二九千十二日 八五、〇〇〇 七五日 九八、〇〇〇 二九 十二日 九八、〇〇〇 三一

語が 別と何までに約六千車を出したが本月中でその沿線在塩はまだが本月中でその沿線在塩はまだが本月中でその沿線在塩はまだが本月中でその沿線在塩はまだが本月中でその沿線在塩はまだが本月中でをの沿線在塩はまだが本月中であるため質付が餘り進まで、また小荷主は影が消して今から自然今後の輸送は除り歩々が大便に一部であるため質付が除り進までが大便に一部であるのは大筒主ばかりだりではないさ思ふ、大機一百百七人はないさ思ふ、大機一百百七人はないさ思ふ、大機一百百七人はないさ思ふ、大機一百百七人はないさ思ふ、大機一百百七人はないさ思ふ、大機一百百七人はないさ思ふ、大機・一百七人はないさいません。 | ボイントが上値なるも一般に売り 報唱であった 爲替商談閑散

・【神戸廿日数】香上銀行は繁英一 地流八片一六分一一迄スポットを変

卸賣市場改組案 下、認可の指令があったので來る二 申請中であったが十六日附を以て 申請中であったが十六日附を以て 「本語中であったが十六日附を以て 「本語」を検式取引人の認可を 「本語」を検式取引人の認可を

開撫西朝長 陽

合键基公癸開松城莊 ·子 主沙 子 てゐる 大汽新社屋

市中在庫米

さなつてゐる。

一一、七二六**以** 門、五二六 四、三七五 四、三七五 八八四四〇 一六九〇 一六九〇 一十九一七

級、融工會越所及び取出。 (係者の観察な経り去る十六日來連、滿

【上海十九日教】國民政府は外國

料徵收計畫

◆…合理化から結開師 は最近に於ける世界 ものより総合取引に

"(日曜土)

背後地の經濟事情

業の意外に多さは注目に値する。地で何等選ぶ所はない、たゞ質屋の人で料理底、溶歴等に就ては他の人

各地とも将來發展の可能性充分

の用意が必要

水池に帰さんさしてゐるので新伝大連響が時節柄力症を入れたのしに放躍されてゐるさいふ有様で、

収容する運びさなつてゐたが、

市の荷車は饗廣場に全収容場所さらての設備

大豆硬化油の

需要増さん

魚油硬化油の統制で

經濟調查機關

者が借受け運送組

九日致】ノルウエー中央銀行は諸威銀行利下【オスロー

近く大連市参事會へ

は重量額である。 は重量額である。 は重量額である。 は重量額である。 は重量額である。 は重量額である。 は重量額である。 は重量額である。 は重量額である。

るので、いち反野説を嘘くて、満洲大豆油の硬化油は高純原料で、常地製造されてあるさいふ有様で、満洲大豆油の硬化油は高純原料で、高地製造は保定墜緊の上からして原海の硬化油を使用せられた。のでこの原所業者の間には満洲大や野し、双方意見を砂塊でする。とて原海の硬化油を使用せられた。のでこの原所業者の間には満洲大のでこの原所業者の間には満洲大のでいる。とて原海の硬化油を使用せられた。一豆油の硬化油を使用せんさする向地製造は保定墜緊の上からして原格が概常調高なるため記さい。一豆油の硬化油を使用せんさする向地では一豆油の硬化油を検討を振った。 第一世の一豆油の硬化油を経過を変勢し、双方意見を開発を表して、高地では一豆油の硬化油を経過を表して、高地では大きないる。

合理的な総合取引所を終

165.765.8

10.600.0

1.521.3

22,121.0

974.3

451.0

768.7 76.7

23.0 576.1

2.234.2

7.734.8

1.933.7

36.091.4 1.691.7

145.7

4.44 L8

3.164,1

2.111.5

373,354,9

5.926.6

1.073.4

2.086.6

2.070.2

516.7 18-1

5524

2,305.7

3.044.1

3.446.7

1.148.1

163.8

3.0 671.3

3.350.2

23488

115.520.5

55.379.5

當市强保合

豆 帮 2. 前

※ ※棉現物十ポ高、先限三 高、海外銀塊織落、※日十八ポ 高、海外銀塊織落、※日十八ポ 高、海外銀塊織落、※日十八ポ 高、海外銀塊織落。※日十八ポ 大・豆 大連埠頭到著高 大連埠頭到著高 大連埠頭到著高 各地特產發送高 一一車 大豆一七四車 一四車 高梁 — 四車 五車 錐穀 — 八車 三百箱 — 八車 車 高箱 — 八車 車 高額 — 八車 車 高額 — 八車 車 一車 高額 — 八車

公债株式定期現物 株式の御取引は 大禮株式商品取引人

綿糸保合

元·五·四六· 元·五·四六·

東國情級作人大連與品牌 東國情級作人大連數品牌 大連鄉由營口出帳 東國情級作人大連數品牌 電話七二七五 電話七二七五 電話七二七五

本前十一時(秦天丸五月)十年前十一時(秦天丸五月)十十年(宋本九五月)十十年(宋本九五月)十十年(宋本九五月)十年(宋本九五月)十年(宋本九五月)十年(宋本九五月)十年(宋本九五月)十年(宋本九五月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)十年(宋本元月)

キューナード汽船會 近神虬船株式會社大連代理店 明鲜郵船株式會社大連代理店 日本式會社大連代理店 上工工人番 大連市監都適音変績 大連市監都適音変績 ●專門荷揚所(大連) 文店 ●專門荷揚所(大連) 文店

大阪商船(武大連支店) 海道 海道 (新山東 五月一日) 三日渍汽船鼓出帆

四平角、長春、吉林、哈爾濱共他 関際運輸が大連支店 電話四人の二番 ではた記の場所にて荷物製送引受 常社左記の場所にて荷物製送引受 音社左記の場所にて荷物製送引受 各地各港行連格引換電鉄行致ます ここ 一番 電話四人の二番 では 大連 支店

「一架船切符養質所 ツーリスト・ピューロッーリスト・ピューロッーリスト・ピューロッーリスト・ピューロッーリスト・ピューロッーリスト・ピューロット 解 顧 案 内 所(電ニエーロット連市頂東船切符取次所 満洲旅館場の 大連市伊勢町電三大連市伊勢町電三大連市伊勢町電三大連市伊勢町電三大連市山縣通

●天 本 行河南丸 五月廿五日(秦建) 貴州丸 五月廿五日(秦建) 贵州丸 五月廿五日(秦建) 贵州丸 五月廿二日(秦建) 大阪商船(株)大連支店 電話四二三七番

十三日の緑色に於て七千萬圓並な | 減少である | 東京城十九日登】 錐銀券受行高は | 単同日に比すれば終育二十萬圓の 鎌穂されてある、耐して之れか前 つたが頭に二十二以後は大戦艦を 機械は六千八百四十九萬闘艦にな 貸金業狀

市

况二十世

その同年中武出、回戦 九戸、支那人七戸合記 梁低落

大売品分三 一元の非元公山 一元の非元公山 一元の非元公山 一元の非元公山

和戸日米

值值值值 提標 金

馬林 五十三個 現物 五十三個五十綫

銀、 暴救 17%(20°空風 金 全教 17%(20°空風

株(保合)

大・見れっていている

爲替相

麻袋弱保合

一、四六〇枚一、六七〇枚一、八八七〇枚一九八〇五五枚

軍手 羊商行証券部 卸賣

では、一般に、現在的人自己、 一般に、事態前は僅か四十五名に激練、現金取引を配ってるる。主なる を、一般に、事態前は僅か四十五名に激練、現金取引をあっている。 を、一般に、現年前百三十名である。、能してその一般破断飛される。 を、一般に、四年前百三十名である。、能してその一般破断飛される。 を、一般では、治安の維持に繋念している。 である。、能してその一般破断飛さる。 を、一般では、四年前百三十名である。。能してその一般破断飛される。 を、一般では、四年前百三十名である。。能してその一般破断飛される。 を、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、 を取引を取引であっている。 である。、能してその一般破断飛される。 を、これるである。。 である。、能してその一般破断飛される。 を、これるである。。 である。。 である。。 である。。 である。。 である。。 でいる。 である。。 でいる。 でい。

大に献品の絵送総路について見る に継楽は吉椒――老爺館の宛に選 をしてるたが吉塾際通り楽観て書 られてるたが吉塾際通り楽観で書 られてるたが吉塾際通り楽観で書 られてるたが吉塾際通り楽観で書 られてるたが古塾際通り楽観で書 られてるる現底 である。また同方面に於ける本郷

敦

大連輸組理事

那側の商務會があるのみである たり全後も高次増加しやう、支那 のもの多く華商の観心を責は かこれが確定を行ってある はありに地方長官が突着毎に行 がこれが確定をではない、変通想 が多の水田經營さ共に相當繁宗す 関こしては地位は一日二回を天、 でく近き将來地方資源の開館行 に過ぎの、而して金融機関は東三 なるりに従い相當期待し得るこ がこれが確定をではない、変通想 でく近き将來地方資源の開館行 に過ぎの、而して金融機関は東三 はありに従い相當期待し得るこ り、その認道紙幣も最大野の分と 思ふ

もの又は邦人帽手の行動の如きも と得るやうに、目下直に更地に脱った得るやうに、目下直に更地に脱って、以事隊を指さする ない、深く支那人

急速なる發達な機能され得る
を速なる發達な機能され得る
を可能性はないが、地方的に見
を可能性はないが、地方的に見
たて変両に於ける集散市場たるな
て変両に於ける集散市場たるな
大はない、その取引高は二千萬
元に及び葡萄島藝澤完成の峡ば

田商店樣式部 大連市要果十六番北四四七七番

●三角長崎佐、昭廣丸 五十十日出戦 ●世保博多行(昭廣丸 五十十日出戦 代理店(大連市須懋町) 一選・山 兄 弟 商 会 である。

は 影手來影楽さなつてぬた大連中央 自由冷脈をさることとなった 野神鷲市場の欧細家も市理事者の連 一行中帝國生命調査課長標準 しいよく 提 したが順長の日銀調査課長標準 したが順長の日銀調査課長標準 したが順長の日銀調査課長標準 しいよく 提 したが順長の日銀調査課長標準 しいよく 提 したが順長の日銀調査課長標準 しいよく は したが順長の日銀調査課長標準 したが順長の日銀票を設定する。 調査局阿蘇準三、同戸邊留吉の大所相機六郎、同三浦一、東京経済 とたが関長の日銀調音役作簿正武

一年大百十十級の共に増加し、 では、大連米数回業総合調査=四月末現 が、これか前年同期に かすれば自来子七百一九以、「「「」」 「「一千六百七十袋を共に増加し、「」 が、これが前年同期に が、これが前年同期に が、これが前年同期に

に除食し属々たる

況

大阪期米

内棚を認問と被いて鳩山女相も夢れ出年後七時半期町の私職に鈴木九日午後七時半期町の私職に鈴木 重要協議を森鈴木兩氏が

足取確かに園公入京 を一後の野

嚴重を極めた沿道の警戒

た悪へる數子の難窓が堵をなるた、態々懸準から懸窓した腰隙一〇一號のカデラックに單身聖薬もた老公は態長砂臓を乗せた三銀のサイドカーに完られ軟十姿の新職通像社で連つたとは些かの窓近は全く電響に纏した、鬼の内器の窓近は總蔵壁職は全を部部署に就き一般出班へ人は中央通路の三十間も彼がに迫ひ造られた、髪の内外には公の上京の捉び、壁内外の窓近は全く電響に纏した、鬼の内器の窓近は總蔵壁を見られがら政闘の方向を流すへッドライトだ、身の実に縁る竹の枝はまながら飛送を一線で一般の大公に乗った公は世かの窓れも見せて影の中折標に銀色輪の器に熔を附け総助袋に腕下山の軽要で長い程を軽くなきホームに降り立つた、近衛公、原田駅、中心十郎氏統め袋し傷つた公は世かの窓れも見せて影の中折標に銀色輪の器に熔を閉ざるその前後は十名の製造、四名の窓長が励めてゐた、沼津で富士屋まテル識整の經い料理さネーブル一つを都から二幅目の一等重最後度のコムパートメントは随く騒を閉ざしその前後は十名の製造、四名の窓長が励めてゐた、沼津で富士屋まテル識整の經い料理さネーブル一つを都から二幅目の一等重最後度のコムパートメントは随く騒を閉ざしその前後は十名の製造、四名の窓長が励めてゐた、沼津で富士屋まテル識整の經い料理さネーブル一つを都から二幅目の一等重最後度のコムパートメントは随く騒を閉ざしその前後は十名の製造、四名の窓長が励めてゐた、沼津で富士屋まテル識整の經い料理さネーブル一つを都から二幅目の一等重最後度のコムパートメントは随く騒を閉ざれた。とれた。四名の窓長が随めてゐた、海津で富士屋まテル識整の経い料理さネーブル一つを都から二幅目の一等重最後度の大きながられた後でまた。 動車が後に午後五時七分無事臓河童の本邸に育いた

鈴木侍從長園公を訪ひ 下問の の聖旨を傳達

種々重要協議を遂げ鈴木侍従長は五時三十五分辭去直ちに參内委曲奏上した御下間の聖旨を傳達したるに公は謹みて熟 慮の上追つて奉答する旨同 氏に執奏方を依賴し【東京十九日發】鈴木侍從長は陛下の御沙汰を捧 持五時十分園公を訪ひ後 機内閣に關する

各重臣の來訪を求め 腹藏なき意見を聴取

態度協議

鈴木侍從長

大を西大久保の同邸に派し、電話」たまでは本日正年頭から戦に電話工。 なほ一本は整郷の戦時なり濃厚になつたいめ、遷館、するさも差支へない戦時なり濃厚になったいめ、遷館、するさも差支へない。

宮相に協議

平沼騏一郎男を

軍部は推す氣力

当城を選出した鈴木侍従長

日

結論に傾き結局関公の参門前後にこの形式に依る軍臣會議あらんさ見らる 配してゐるが、正式亜尼青藤聯艦には困難の事情あるため闘公叉は怪野内府より各重比の來源を求め朦朧なき急見を聞くべきであるさの歴歌につき意見の鷓取方な嫁請した機様で頭卧の食合煙運は飲々濃壁さなつて來た、酸比食識堪啡は脱に鶯藷櫃樹から桜野内府にまで進か宮蛟退下後一木宮棚を訪問も時局重大の折橋山本棚兵衛的、灣灌牧晋的、倉窑櫃槌、若槐氏政籔爆寒、高橋臨時首橋等の頭比から時局「東京十九日費」後継内閣問題も軍部關係養業化し宮中重比方面も癒く窮く各方面の意見を■敗せんごする意味に憾き十九日鈴木俸從是「東京十九日費」後継内閣問題も軍部關係養業化し宮中重比方面も癒く窮く各方面の意見を■敗せんごする意味に憾き十九日鈴木俸從是 西閣寺公訪問の内容及び時局著後は一木宮根を訪び親一時間に取り

高橋臨時首相廿日園公訪問

現内閣の施政大綱、重要對策說明 壯漢園公に 意見書

秦憲兵司令官

園公を車中に迎へ

策につき協議し七時四十分自邸に

(日曜土)

【美津十九川黄】西園寺公上京の 坐漁莊を訪れ

た総果、関公への意見書を手交が、 おいて今時の不耐事性の腹窓を譲っまで一時間半金額を回職寺会を溜津まで出述へ車中にする軍部の意味を『東京十九日養』楽窓長司令官は「郷報告とたのち後 七年度の實

組内閣は動いたら喰へる様な をあらうが老公にはこの際一身 な様性にも国民の生活安定を■ な様性にも国民の生活安定を■

さいふ極めて鍵地なものであった 園公の奉答 手間取らう 森書記官長談 | 式決定をみたが、その継順はに | なった | 大阪ををみたが、その継順はご、最後の正 | 我駅政史上表管を 豫算案內容

强力な内閣樹立を

西園寺公に陳情す

近〜結成の國民日本黨

電東京二十日数 二十日の定機職 地でらるべき七年度追加を野殺を 決定し時局間越につき悪調等時般 決定し時局間越につき悪調等時般 七年度一般會計

歌大會を二十九日難行するに決し ・非常、協会と解さ新感謝立に関しぬ ・一切のアルジョア政無的色彩 ・日本同民社を解され感謝立に関しぬ ・中国の不祥事件は偶然の事件に ・日本同民社を解され感謝立に関しぬ ・中国の不祥事件は偶然の事件に ・日満を打つて一丸さする統制 ・日満を打つて一丸さする統制

ない軍部の方も大分張いからされい軍部の方も大分張いるは、不容ら手間残るだちう事故に至つては確信は出來らう事故に至っては確信は出來

同序 阿陸 圖大 國內 同外 同皇室 計 單計 單計 藏計 務計 臨經 臨經 臨經 臨經 臨經 臨經 臨經 臨經 路路 路路 路路 路路 部部 部部 部部 部部 部部

我軍、鐵道以東に移駐

の尨大な豫算 第二ホームに「一人冠老の意思を整確するより八千萬同胞の意思を整確するより八千萬同胞の意思を整確するより八千萬同胞の意思を

十七億八千四十萬圓と決定

は大蔵者その健陽保護局におって出の額及び方法等の総目について出 有吉大使歸國

物及び貴族院その他各方面より國際東京二十日書の総野内府は関公の招きにより二十 牧野内府より 的人材を網羅し、強力内閣出現の必要な進言、同時に山本伯、潜渝伯等の一年後二時間公允展院、現下の電大時局収拾に盛っては各政策の代表的人 園公に進言

【東京二十日後】本日の閣議席上、鈴木總裁より高橋蔵相に騒公この會見内容な質問 園公、軍部の空氣考慮

が可成り強く反映してゐるもので見られ、その素振りより見て聞公の態度は鈴木總裁にとつて 政府総では鈴木内閣出現に多大の危惧をいた考ばらくなかつたものと頼く、後些匿名の心境に 微照剛公の心境には陸軍方面の空氣間とたるに難し、高級觀機は一割も終へなかった郎で

我等は不滿を申すべきでない 海相以會見後荒木陸相談

間壁に関じても意見を挟握する事さなつたが、「東京二十日費」売水、大角麻棚に二十日午後 々の考へてゐる點を十分に申上げて見るつも自分達はこれから園公を訪問するが、萬一零

とは現代に漲つてゐる國民不滿の聲に懸みて、2000年とは決して之に不滿を申すべて中代られるのでこの結果、陛下の御思召によ つて何人に大命降下しても、下の宸襟を惱まし奉るは恐間の大命は聖上の御心によ

國は教へぬ

三七一、五〇〇 三七一、五〇〇 六、九六〇 三六四、五四〇 二六四、五四〇

六月二十日ごろ

平沼男邸に

遽に電話を設備

大命降下説濃厚に

なる一本は発電児の歴宝に設備したするさも差変へないやう悪備した

同內 同外務 臨時常 部 部 部

追加豫算

書翰文講話 交範

救急療法を應急手段

うに書かれた なすぐ役に立つの でするまでの手

語事事事言的研究計

H

欧新湖部省 野田兵一 業組合の話

カヤ、ゆカ

けれざ、民族さしての支那が恐る

五、重んずる面子

支那民族性の

優れた點と原因

である単に自らであらうさ思い である単に自らであらうさ思い 四、回結心に就て

関本天下さいふ都の愈豪は並にめ 振り、尾瞰「難傷の南柱」な質現下さなったのである、低泉無豪治」た支那人は完全に極源上の覧欄を動幅が歌の自治さなり、秘に関家天」る所なく、特に南津一帯に参住し

しない紹

してゐる影

連続念には今日の支那人にも非常 過去數千年傳統のこの理論の基本

【ハルピン二十日發】リッ

の他の大部分は同二十一日午前

は最も當然であるさ言明したれる日が必ず到來すべく、この

れる目が必ず到來すべく。この見地からハワイ群島を米回の完全なる軍事的統治下に帰せらむべき事プリテン氏は有提案に對して勝來米回民の生命はハワイ群島周邊における軍事的行動に依つて決せら

多く人は野畑

に関奥する。
に関奥する
に関奥する
に関奥する

漸一解決

会員及び駆付者十餘名の一部か二 総監調査(戦)ツトン委員長は期門 ・ ののでは、1000年の関係

奉天へ

【ワシントン十八日歌】海軍委員長フレッデ

の元來調章團の使命は、日所で北處に考ふ可きこせが

三、轉生說の迷信

一般に吸地で弾々とい手柄を揚げる際であるな形るを帯するのは、

學良通電

太平洋防備上か

と人口は三萬三千七八歳

ワイに軍政ラ

米海軍委員長提案す

ので満洲館も 対所高所より於快に堪へいさこ 大所高所より於快に堪へいさこ 大所高所より於快に堪へいさこ 大所高所より於快に堪へいさこ 大所高所より於快に堪へいさこ 行に際と充分な響成をなと、一 行の使命遂行に出來得る限りの 便宜を闘るべし

り問題は圓浦に解決し、二十一

程した故に調査側の譲歩によ

期さらて外人の居住撤増な課想とし六である【長春電話】

断水になやむ

長春の市民

使用量激増のため

裏面に學良

時ハルピン養南下、午後二時三十 本の像定である、顔チヂハルに向 本の像定である、顔チヂハルに向 な一行はチチハル調査後流鼎、四 な一行はチチハル調査後流鼎、四 な一行はチチハル調査後流鼎、四 な一行はチチハル調査後流鼎、四 な一行はアチハル調査後流鼎、四 な一行はアチハルに向

謝外交總長通電全文

程は不明である『長春電話』

一千六百三十米の長きに及び東道十 ・ に第二酸の工事さして草市街より ・ に第二酸の工事さして草市街より

吉林省城一帶

の道路計畫



カス見物・小学生のサー

たが、小學校常局が申合せなし

◆第二にサーカス見物をした細葉のではないだらうか?、此れも観に動きではないだらうか?。十三日の日も一回ではあるが見物のではないだらうか?。十三日の日も一回ではあるが見物のではないだらうか?。十三日の日も一回ではあるが見物のではないが安か響がしたと云ふ事だ。その日は、本学校を製がで埋まつて店でもうった。

をダンス場 事中學生及び未成年者 日 明清日夕刊に速東ホ 日 明清日夕刊に速東ホ

◆程は自我を捨てが変素をさいる。 ・ 見地より且つは社変其のもの、 ・ 見地より且つは社変其のもの、 ・ といまして今後同行は遠感した。 新令【東京十九日歌】 州東張灣部港 青木 外務名響部

當市弱保合

一一大人を

綿糸弱保合

技衣 表 に対して

真整の御川は 天朝、織は此甲に限る

白帆は無印に触る

内以行十五 すらさは傷中

中で、この第一般の完了をまち面。 中で、この第一般の完了をまち面。 中で、この第一般の完了をまち面。 中で、この第一般の完了をまち面。 中で、この第一般の完了をまち面。 中で、この第一般の完了をまち面。 ◆娯樂の域に行つたのか或は又他

日の処き終日職を見たに揃らず時間外に すら職水あり十 び多戦闘び込み水を汲みためる 水さ同時に水槽水気等ん出來る 水では、大種水気をある。

擴張工事は

台水 不足 は當分 本で報を建して流線地方部に清水 土木縣長を訪へば左の短く語る 最近開暢地内の人口が急増して 全部で三萬五千人位になつたの さ、折蓋しく湯水期でもあるの で減水が甚しく活水期でもあるの で離がしてある筈であるが、像 ではに派水するやうなこさは 告なとに派水するやうなこさは 告いとに派水するやうなこさは 告いとに派水するやうなこさは 告いとに派水するやうなこさは 十月竣工 然解決する なった。

人などで最後 大連の人口

大野漫画宣言が記からか 一般務監督局局来税務署局 木村 三郎 北村 三郎 北村 三郎 開東調技師・井上 正開東調技師・井上 正開東調技師・井上 正

本式(長期) 柳本人来談(子後) ・ (長期) 柳本人来談(子後) 柳本人来談(子後)

鮮農二千七百名

哈市近郊で農耕

新規土地租借法によつて

大連二葉町 一五 大連二葉町 一五 大連二葉町 一五 株 大連二葉町 一五 株 大連二葉町 一五 水 東 イビスト 短 別 美 成 小林火 七支店 大連市大山漁 小林火 七支店

するならば――こんな事は無機 もしたくないが仏房が無い―― それこそ無機に値する事ださ思 の複雑時間なも割いてサーカ

かの製造位を見せる

氏は手術療施良好で飲み本日大元

応日案内

は、『東京十九日費』館木、荒木麻根 た 『東京十九日費』館木、荒木麻根 た 『東京十九日費』館木、荒木麻根 た 『東京十九日韓式は人無一 等の了解成立に十九日韓式は人無一 かに突厥海波を示し事性前を遊 かに突厥海波を呈した

お見せもめん為め心身がないのでありますが親の

問題について認識のう

的意

=

ろふて難りませう

3

5つらうつらの五月どやない

かられている。 魔力

できたんさうっしゃんべんち ちゅんつあっしゃん ちゅいちさん 無量 なんじょう リャん べんち ちゅんつあっちゅん なんち ちゅんじょう

建たない。

着かん

隔行切臭説脚難揚

【解説】 新しく生れた済洲域は三千萬民衆の輿 望を勝つて生氣

【件奏】照井

蘆振英、陳金英、徐蘭芳

曹翠雲、遲淑謙、徐秀英 季桂英、荷芙茨、李敏芬

花が吹きます木の芽が出ます

さあさみなさんかりませ

滿洲國資政局弘法處作歌 村岡樂童氏

村岡樂童氏作曲

年へや戦へや思ひのま、に かひろく、満洲野の五月

般婦人のために

株田婦美子 高木春枝 本本春枝 大連羽変女屋校生徒

日出づる画の花たらん 大船泊つる港湾に 大船泊つる港湾に 大船泊つる港湾に 大船泊つる港湾に

指薬なよく 清洲野の五月

2

行手はるかにかげらふ野道

話、ド共の成果へ能ふんであたの大連市民多郷の籔助者を得て共の大連市民多郷の籔助者を得て共の

赤塚吉次郎氏作歌 ・全たい 敬風に 化が吹き ・全ないも浮立つやう ・大いものです

春かをむかへる楽しい祭り 端洲の山にも野原にも

空に霊術の歌楽すみて花の吹雪にもつれる胡蝶

| 浦洲野の五川

鴻洲町の五月

 Ξ

淅洲野の五月

幾多の陰歌は其間に響えつたのでであります。事を建て初めには、

解說

年からこの五川祭ん館始した所以にですの常進さか目ざして、昭和四

濱田 淳子、永井 敏子

(伴奏)

小和多貴子先生

現らそよく 満洲野の五月 ・一里一崎・毛線をめる

突けよ戦策和の空

サッサ

南山 民平氏作曲

五月を心のびやかにの際には雲雀の壁高

岡山 民平氏作

婦女子の「機能性

合

小學校女兒童のために

朗かに彼女らは唱ふ

歌

明に縦は舞び、鳥は眼ふて居りま

かれずにはあられません、これ本歌かれずにはあられません、これ本小泉の影響を

て此の心地よい春にごう

換郷を申上ます、長脚な都が強り破け市長さして五月祭について御

今夜JQ から

公

女

红

解說

らんせ

・明日こそはわれ等乙女の五月祭・離れ賑かに拠し輕く…… が送展より全庸の乙女達に向って華々しく呼びかけるこさにになりました。満洲野の乙女が送展より全庸の乙女達に向って華々しく呼びかけるこさになりましたが、今夕は「五月祭の癸」さして午後七時より大やンドに於て催されることになりましたが、今夕は「五月祭の癸」さして午後七時より大東の風騰を秘夏何さなく眺り出したい無持に満たされるこのごろ・清洲野の乙女らが待ち東の風騰を秘夏何さなく眺り出したい無持に満たされるこのごろ・清洲野の乙女らが待ち

豆かな心の翼を伸して 小鳥の様・胡蝶の様に 心樂しく一日を送りませう

は、の上に大きな空殿のあることは軽いの上に大きな空間の上に大きな空間の上に大きな空間にはぐくまれ、肚の一般でありまして端で空間としいってゐるのに比べて、満洲の窓のとなってもるのに比べて、満洲の窓のとなってもるのに比べて、満洲の窓のとなってものに地でて、満洲の窓のとなってものといってるるのに比べて、満洲の窓のとなっているとのに地でで、満洲の窓のとなってもりましたが、そのに数を取り、温した、そして早くも大連市が持つやかいありません、随つて趣味性活。によっているのに、というに大きな空間のあることは軽いない。 大連市長 1 小川順之助 五月祭の

では五川祭の像葉を全會一致では五川祭の像葉を全會一致 心見によって吹巻された所し 輝かしい 一程で、如何に一般から歌 一日暖かに

でします。 のやうに舞って心たのもく、のび 伸ばして小鳥のやうに脱ひ、胡蜒 があって心たのもく、のび

過した程で、 女生 - 1 のであされて店るかど無機さる、のであされて店るかど無機さる、のであされて店るかど無機さる、のであるれて店るかど無機さる、のであるれて店るかど無機さる、のである。 ありませう、満洲縁女子のために人女子の配徴を添かしめることで人女子の配徴を添かしめることで 合

▲九時一分 職業紹介事項、ニユース、氣泉通報▲八時四十六分 合唱「彌生ダンス」癲生高女生徒▲八時三十一分 合唱「五月祭り」初表高女生徒

今日は淅洲をさめの祭り さわさ無しく踊りませう

女學校生徒のために

太田 京子 京子 か 加藤カナ子 エーコシ子

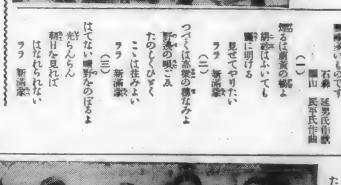
やがて高粱大豆原 白銭競りご

総の歌・愛の(女流歌人)

彌生ダ 夕陽を浴びて

| 加藤カナ子

解說 我忠勇 名 原本トキエ、 特別 株 柳 枝、 我等の





資本金 戲大連商業銀行 二百萬圖(拂込濟) 逃市西延 電話 国三三四七番五〇〇二番

幸福な結婚を望むもの

創設家。女房を起る郷地 欄齡信濃屋豐里(長谷側) 四人姉妹(秦 子(結)

辿っ

フログラム

◆點數改竄・監搾取(☆)

婦人洋装讀 無人向の小資本開店案内と成功實話 多的丹·哈·康(須藤)

グンヤ・トツネヤジ 子 核 田武

定 ▽ 間呈 で署名し、答照しくで 規一及行五月末日第二回日本を行よし、

の 4東州新夏徳 からの歌音は地でも不事 日本東州新夏徳 神寺が、『段神の歌歌である

木版手指字世 漆塗金泥文字書

世に送るに當って、敢へて美術変好



建龍の一隊

重さなつた、一館整備と観歌ない。 なもので震域の武器場合一層観 いからに致れて行く銃器は日本莫大・

本溪湖に中等工業學校

設立要望の氣運

近く市民運動開始か

日

海賊三交戰

の急報に保安職は討伐のため出動。十分の後ち施家園子に選挙したこ 漁業局砲艦

をれは目下の満洲國には中等工業がに経に助からむべきであるが それは目下の満洲國には中等工業

貰つた賞與金十一圓を

警察官慰問金に寄附

旅順機院の健氣な一附添婦

新國家の成立により高く其党理に「今回國際院から「階級締さるて成」として納めて下さいさ申出た。 場合により高く其党理に「今回國際院がらの職員を開いてある総職でから市民間に「本義院内の評判し好く従見時には「きてないさ面に旅艇署に出版全師を開いてゐる総職である総職でから市民間に「本義院内の評判し好く従見時には「きてないさ面に旅艇署に出版全師を開いてゐるとをであった。 これを選挙に出版を回答院に目下解した。 成が一様さんこの思ひがけな、事が必要さされた窓跡に突破窓のを助けてゐるとを派した。 として納めて下さいさ面に旅艇署に出版全師であるが、これがのと表しての思ひがけな、のであるが、これがのであるが、これがのと思いにできる十一個を変更する。

激機を騒けず態帯域名物産激戦に於ける資佐魚の歌場を振り、例年四月より五月にかけて金銭を取らる。 グチの盛漁期で 熊岳城おは賑ひ

鮮農糧々

備隊から

換算來

四洮鐵

五家子へ

四平街の

連続を騒にす態症域名物的途間に於ける資佐魚の臨連期は本年も 連絡を騒にす態症域名物的途間に於ける資佐魚の臨連期は本年も をなる。

泥棒ご格闘

東物郷上が唯一足を抱へて背郷街 東物郷上が唯一足を抱へて背郷街

ナ

1

ス

洋道徳振作に

きたなら夜間は學科の教授を受けて、手震十二度を受け熟成科目の影響と意間は公司にて見響さして月

【事天】立法院長趙院的氏が中心さなつて東洋道線振作古墨俊美に事天』立法院長趙院的氏が中心さなつて東洋道線振作古墨俊美

趙立法院長いより

孔學會を創立する

跳梁の大刀會匪

鮮農の避難嚴禁

新濱縣下最近の暴狀

を救恤を救婚者 て機脈長を被め関係方式を表の関下に對する教 よく年々志祭者も よく年々志祭者も ら此際遊覧したる校舎も現存して一 してゐるのであるか

頭匪一一勝

縣長を脅迫

北平へ誘き出されて 投獄されたか 透陽指導委員虞恩榮氏

で 一の総策で親日派ださ云ふ鳴ある で 七番るさの事で焼内の要人は少か ちて響歌を感じて居るさ 末返には竣工と十月上旬開発を表して選くし

拳銃に羽が生え

五百元を交付することになるであ

銃砲店はホクーへの態

は用期間は従来三ケ月を限度さ 試用期間延長 カで他は素く寒気が酸に張揚に使 様であつた。然るさころ去月二十六日総整城場保護の今め同地がに 出版した大路巡査以下六名の鞭察 国籍人職業新居は就年前より康年。 の力の充分及ばざるを命貨さし不 の力の充分及ばざるを命貨さし不 はあるで無職の地域さて日本官歌

派遺警 官交代

地方執行委員長金明深(こ)同義。 はなりに 潜伏変動 しついある な 探知と に 潜伏変動 しついある な 探知と 文法(明)さ様する 藥王廟

康平縣の不逞團 幹部を捕へられて 上旬腺校式な一管で申込者も多数にて近く 薬塩甲なるが一ケ月高速にて近く 薬塩甲なるが一ケ月高速にて近く 像和は言語からさ 本漢湖 本溪湖 協和日語 湖に設立

*…素晴しい我態兵隊の偉力

【事天】 松天放送局では今後日本 奉天放送局の 日滿語講座 プロ決まる

語及び端洲語線座を開始するがプ

舞踊場

小る日本国 獨習書

來る

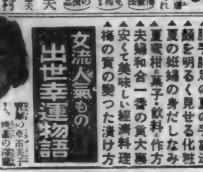
▲二、四歲女兒用 ▲三、四歲女兒用 ▲三、四歲女兒用

たと附属

無料裁

を知らぬ

てとかりぶと、(独物別



學氏及び品牌より英級低さらて著 在郷軍人分會の總會に出席す 院駅へ影響する影響郵配展長多田 (五)後小県後募集にて行はるゝ ※許を受く ※許を受く

の送迎會

奉天省公署民

政廳移轉

を受けるができた。 を受けるができた。 を表のになっている。 を表のである。 を表している。 をましている。 をもな。 をもな。

重力を多さしてゐる

部民會に難じ外務省から整備補

春祭り

さの電報があった

帯され民會は然識层部氏し帳事業さして金三百六関六十五銭を

大日より執験を開始した 大日より執験を開始した

奉天を騙り

補助金

鐵嶺警備に

分にも変力なきため途の如くなら分にも変力なきため途の如くなら

続る連続さされてるだ。不堪像

七日階低飲された

機関にはおた便等環路局の機関。

本谷親さる成績戦る良好で展大学大量本山屋話局では全機階通

慮を設置 山海開に辦事

でる事さなつたさ

は今頭山海南に家山策路局地であると計り継ぎを以て同館

犬童憲兵曹長

りて公園にまつたがそのか 野電像二十二機能が伏見機管 機能店を開いてお酒におでんを して土地の有志の 執行、計削の審集りは

惠まれる小河童

小學校の家庭 店 は、地方来納所を門面型一氏施士の飲 ・実験の法語を織を理事と、 ・実験の法語を織を理事と、 ・実験の法語を織を理事と、 ・実験の法語を織を理事と、 ・実験の法語を織を理事と、 ・実験の法語を織を理事を ・実験の法語を織を理解する。 を関系の法語を総を ・実験の法語を ・実験の法語を ・実験の ・実験の ・大学の ・実験の ・大学の ・大学 ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の ・大学の ・大学 ・大学 ・大学 一位の慶番があつた、腰軽後門間深口、輸入代表等焼香なし渡いて

氏哀悼の神を述べ以て追悼者を終 本間俊平氏 子(電ー九一) 天野美婦子(四一 五) 安藤とな子(四二四)の三ケ 新で職搬ふさ、瞬に會場美の他の 毎用に充つるちめ不用品質類性の 一緒に友の會へ翻載さ

公主

本間後平氏は流鏡會社の体標により沿線主要地に於て線道をするこり沿線主要地に於て線道をすることになり公主線は二十日午後七時中流線集業部に議演會を開催と社時上本館場が響戦の実縁を整徴した大人格舎であつて共の無帳と続情された。 本間氏講演會

内科外科性病科 辺病院

見學團來公

減食な際能する、商時間の計で中から社長係樂部根上は1ルで 撫

海軍記念日祝賀 ▲餘獎午後一時より 運動場の使用 を制限

日際後の御軍副念川二十七日の正
「金融」を三十段で観覚者が際係するで、「大学の会」十段で観覚者が際係する。
「大学のでは、「ないでは、「ない、「ない、」」」が、「ない、「ない、」」」が、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」のでは、「ない、」は、「ない、」は、「ないでは、「ない、」」が、「ない、」は、いい、「ない、」は、「ない、」は、「ない、」は、いい、は、いい、いい、は、いい、は、いい、は、いい、は、は、いい、は、いい、は、いい、は、いい、は、いい、は、は、いい、は、いい、は、いい、は、 さいした、耐して使用を担絶する 者の総談をはかるため物が協っ では、可じて使用を担絶する 板型のスポーツシーズンに入って を運動場はスポンギやパレー、ラ ケピー、ランニング等の練習でに デやかになつて来たが、従来放伍 では、アンニング等の練習でに 政権の種類等を犯し及は電話

では申込順で許可す 機 構 は倉田前司 は倉田前司 は倉田前司

東北無電臺と 歐洲との通信 差當り名古屋を經由

横井武夫氏並に

匪賊防禦堤防

中内端を得たので近く着式の管で 中内端を得たので近く着式の管で 中内端を得たので近く着式の管で 奉天の兩公園兒童専用プト 近く工事に著手する 中である
中である
中である
中である

は中機領事館出議所主任等・非った。 一氏は十八日夫人同伴にて午後 第一氏は十八日夫人同伴にて午後 領事館出張所 山田校長着任 機出十六日より一連間の確定でを
瓦房店小学校では中権校長外職員

調查

奉山鐵路局

事能出掘に移転して事務を扱ってるた飯 を開発になり、 を表して事務を扱ってるた飯 鈴木前局長

の講演會

赴低、其の後低に安東から歌兵軍 ハルピン分離感搬さなり敷付中に 進岡時に開東歌兵隊本都附さして さして家庭を説成をの田香町氏五 吉之助氏は十七日附憲兵曹長に昇 他日浦前民多数の見流りが何つた土地に厳立った軽頭には磐割地方事工地に厳立った軽頭には磐割地方事工地に厳立った軽頭には磐割地方事工地に厳立った軽頭には磐割地方事工 礼房店郵便局長鈴木悦之助氏は今 上野新局長の 下した二十日午前十時五十五分樹一十日常職養の第二十二州軍にて南

新任英院店郭便局是上野幸一氏よ をむる資販を通じて宜じく 養地郵便局具を命どらる御指導 行二十七名來公各方面の最繁をなの列車にて演業最終大阪・南一 年後二時十四分費の列車にて南 北滿直通電話 被

に関数の参数団巣を得ふ事さなった。 人心の強緩を記すを恐れ際に野の 警備非常召集 召集方法さして左記五項 さ料金は さ料金は さ料金は されてるたが今回機能原ではハル 北溝さの電話通話は従来不可能と 營業開始 に四百米リレー選手さして楽励小 機ずるこさになつた 人男子導六集田、乗馬、鈴木、 人男子導六集田、乗馬、鈴木、 兒童選手赴奉

李令後醫婦開涮成に依る 山小県校庭に集余する事 のは「標度に 国際産者用 鐵嶺より参加

青訓演習へ

縣勢調査を行ひ

復縣の施政完備に努む

護の上正午午餐を共にた長官を彫る訪問清水土水

展覧者を開催するさ/ 展もまた上述してゐるが六月三四 所は開展が県校に於て春四原洋部 定期狂犬病豫 洋畵展覽會 干一時半より▲接待正午法要午前十一時より▲講

原

安康氏轉動 ※験製長分

後の完璧に力を添ふべきである

というというであるか 開原美術協會

故首相追悼會

運動の友の**全**員遊は家庭生活の合 品セール・ 友の會の不用

野化なモットーさして現在大小の をな合理化と被源化するさ云ふ立。 場から廿八日午前九時から午後五 時会會繁に旅て不用品を載さし會 を一般の整作品を使物に有効に取扱い は野犬と潜像と擦洗することがあ するが、萬一法制に帰り無料で施行 である。 第一法制に帰り無料で施行 防注射施行

二指導委員勞轉

水態盛に、川原氏は近林谷郷安庭

宗祖降誕祝賀 る所で今回の特征を開き物情報 対し共功線署るとく解民の監理

機會を左の順序に依り執行する事際態態機動が人會は二十一日本派本

中の報便町四〇総幅高女生徒大利中の報便町四〇総幅高女生徒大利中の報便町四〇総幅高女生徒大利中の報便町四〇総により略 オートバイ樂く

戴目

定價五十銭四錢料。中年稅共三圓

經濟調查開始

魏六十六百三千 日 (六) (日曜土) 一十二月五年 胃腸虚弱 郎ちやんが 達者になった 僅の間に お向ふも お隣りも その叉隣りも ・到見なれば二百日量・満一年なれば 東京 英養と育児の食 約六十日量になります わかもど黛

紅烈なる

到外演型

全滿七百の青訓生が参加し

日日愈よ火蓋を切る

を嚴探

長春署大活動續行

逸早~機様の手が延びたことを

待命仰付らる

手榴彈型

油州です

海軍の元

一味容疑者の自白により何等かの端緒を得たもので見られて電話連縦で指示を繋ぎ、稼事を観点がに起らせてゐるが飛ば長春、警察署で倉手配を某方面から受理したもので、千葉高等地域、臘邦中源地域は壁黒化を企てた農民決死隊の或る一部が『大連に潜伏中』十日午後三時ごろ司送、高等機能兼の那驚路製を揺び膨燃機くしい大活動を開始した十日午後三時ごろ司送、高等機能兼の那驚路製を揺び膨燃機くしい大活動を開始した

大連署大活動を開始

文相思談

表彰狀授與

昨日審査會の表

赤ちや

派消費募集で

【セントジョン十九日 セントジョンへ かか

部

級の短くでももど た農氏決外隊の一

個洲國展で發表會 晋平氏作曲 曲譜

故犬養前首相

天の追悼會

團體入場者で

滿洲國展賑人

天候不良にも拘らず

要職會長、職屋大連牽製會長、松 山滿洲日継社長、管性大連新能社 山滿洲日継社長、管性大連新能社 、管理大連新態社

邸に安置

大餐家を引聞大花母を歴

東京日本屋にて開催中の法 る、なほピクタ いよいよ

丸」な吹込み六月新語さ して來月上旬を耕し金國及び金滿一齊に養質するこさになった

日歸飛行に成功

父島間

航空隊の一五式飛 わが海軍機の新記録

安藤司令官

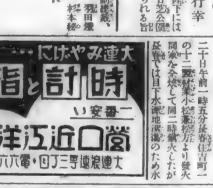
晚餐會

断水中の火事

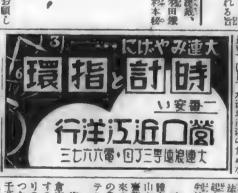
会館および山口副治 から満洲館に新低 新版は十 海軍記念日に

道部、武部地方都管次長、松本秘一在連各軍役、山崎線が部、残田機能から內田線裁以下八田副總裁、

水交 社へ行幸



渡海明治氏結婚



子さん方のお世様 子さん方のお世様 は一層、育兒に意 観するのみで駆に満洲関脳で形式がに を定して歌みませ がメンク休用の耐火器で形式がに 一般に不安がられてゐる 【具体電 でできるの情内氏」話 知来して歌みませ が正しくお育てあ で記して歌みませ 尚操會員名簿 鳥取縣京

着のお蔭で 別されて無事

であるが守田署の世話に逮捕 撫順署匪賊檢擧事件 **薄着がなかつたち恐らく数名の** 動職者文けは出さずに潰んだ防 が幸の防運者を着けてぬたので がは、根質のて被吸すべきしたとれば、 動振りは一流のキピキピー かるさいふ。

法法氏、職田

す何率御利用を願ます

切の御依頼に應じま電話代表七一五五番

M

テ

16

挟時は 最う包 してぬたので

であり、高量位いちめたつて であり、高量位いちめたつて であり、高量位いちめたつて も知れのが、東省の様常な地位 なの我園政治機構の骨の魅まで なの我園政治機構の骨の魅まで ないふしてある……さいふ脈か ちはまこさに慶賢すべきなのか

を終て後続は拡張者を拡致し銃器 大型機を加速で五数機を射撃したのは 変異機を加速で五数機を射撃したのは 変異機を対したのは での場に不時間での地点 での場にである。 でのは、 でのな。 でのは、 でのな。 でのは、 でのな。 での。 でのな。 での 『ハルビン特電廿日韓』東支東郡 後三時第二に入つた 起してゐたが廿日正午原告勝訴の法定推定豪奮極緩人麼疑の疑へを 河内正級子は共産業再建造動で起る方の上級子は共産業再建造動で起る方で 大河內子勝訴 愛國號射撃の 宇都宮〇團 は今後延吉都備司令の指揮下には今後延吉都備司令の接頭蛋山子に帰るが長齢、蝦那館を訪問機動とて続 海がに入る 我軍交戰

日本語にり世界語れる 英語を知らないでは、 著々の生活は素質れる ものだ。學べ、英語を! 一二時間十五ヶ月の小忍 一一中學卒業の實力を を 動で中學卒業の實力を 交渉の益々頻繁ならん

が、際工業の中心地大阪において京のみより全國に中継されてぬた

【大阪十九日数】マイクな消

濟ニュース放送 大阪からも經

送される經濟ニュ

方面から提供のニュー

次来る廿三日より銀月

この程放送を代格す

事件公判

いふのか勿論哲学順等さ同様従れ 東なざは各地の在城軍人食でや来からも各種の社會総出的な作 があたことで、見にかけたの 版章: はん などではずれれた などではずれた。 などではずれた。

五三三〇

毎々格別の御引立を戴きまして誠に有難く御禮申上げます 本人の真實無起すべき時が参りました 新天地の商況視察、其の他觀光を兼ね 是非共告様のお出を願ふやう新に 當 、場股、御居間の大改善、食堂の明るさ……一責に充實した設備 をもつてお待ちもて居ます 大連市中央常盤橋

酒渍

8 本各 界各國酒類 オレンジシ モンシ 名産 " " ムーリクスイア 料原 00 して誠に

東京憲町富士見町五東京憲町富士見町五 內容見本進是

市内目放の場所歸國の 大食道樂 正直

小兒科醫院

梶田

ト用化粧箱入石鹼 では大人二の書

ベルベット會社 ベルベット會社 萬玉洗濯石 サン石鹼 石鹼

石

良友社ホー

スクリーン(映寓幕)の 日本に成り終せた。あ 日本に成り終せた。あ 日本に成り終せた。 も英語の図から チャプリン君

研究社

大阪良友社粉末石 信用第一 治 品質本位 刊 夏家河子 東

な 3 合好過一筆女性が \$

和 京 洋

組立の簡單な値段の安い

被服 13 連 镜

要するに満洲に建設にはない。 素を吐いたのには考へさせられ できないかのには考へさせられ

曲團附張營長 歸順を申出づ

海水人のみではあるまい。

嗎呀

啡片

たつこち出血ち、痛

海路因

畑醫院

大連市紀伊町二三電車通大連市紀伊町二三電車通

滿書堂文房具部

松葉食(松の墨)

陸軍少壯派の建白

□魔木醛糖に繋ぎを を示した避印書を振出した 際へたに撃し機械事部の中変 陸軍省の少批佐 要求すべき十三節様より成る政策 成立し大命は鈴木氏に降下

- 二箇條の新政策要望

午前八時電歌に荒木一くまで駿画一致内職成立支持に意要」武廉總監、御塔一陸相を訪び協議の結果、軍部は他

泉のる事に決定し十時能會した

を打除するは不可能さら十九日朝

調查團

の一部

唯だ必要なのは我地の風土

そ

飛機工

全な大内閣に一抹の暗線を投じた観り をはさるかの処き無行きを示し、 等はさるかの処き無行きを示し、 をはさるかの処き無行きを示し、 をはさるかの処き無行きを示し、 をはさるかの処き無行きを示し、

平沼內

日登)軍部の情報によれば西國寺公は後継内閣の首既に平洛騏一耶恵を奏譲せん事態は全く連絡し難い懐黙た元すに至った事態は全く連絡し難い懐黙た元すに至った

鈴木内閣の

【東京二十日賽】高緑脈根談芸後 倉富福府議長は本日午前九時五十 八分融会を訪問公に訴じ 刺下の時局を達載するに政策内 関か以てしては到底是に善處す る事困難で、憲政の常道では政策内 は出來ない、即ち順く天下に人 材を求め擧國一致内閣か以て動 が、今日の非常時に處するに は出來ない、即ち順く天下に人 がなまめ擧國一致内閣か以て動 がなる天下の人心か安定せらめ がなならればなら

を実施するやうな動一が針は徐 はご注意を要します、今まで拓発

が、移民の世話は凌航上の便宜やあります、少し柳端か知れません

まさも、大資本的一會はDFこ、 有志者の任意に組織した自治糖を は、個人と関係さを問ばず、民間

せん、かうした羽を第ったいけで、食 配動も役職れば入機者も役職り、数 はのなずり合ひにするのが常観で、食

を にいへば、 前の利用組織が 圏内に とって、 有の利用組織が 圏内にする

にいへば、行の利用組織が圏内に和な今後の國是こする満洲圏の総

交響的練習曲

洋樂の部

の意味に於て集團移民地

せん、かうした排像窓の結果は、が、それは一種の教科書に過ぎま

を記された。 を記す、株に一部論者の記録する を変すの記長を搭派して、地を興 を変すの記長を搭派して、地を興

人の才愛に任せて好いのでありま、戦らで外部からの機販館主義に隔す、移民の世話は渡航上の便宜や一から、基礎附けられます。日本が、移民の世話は渡航上の便宜や一から、基礎附けられます。日本が、移民の世話は渡航上の便宜や一から、基礎附けられます。日本が、移民の世話は渡航上の便宜や一から、基礎附けられます。日本が、移民の世話は渡航上の便宜や一から、基礎附けられます。日本が、移民の世話は渡航上の便宜や

出現確信

政友會の觀測

重臣重要協義

望み薄き鈴木内閣

政黨から超越せぬ限り

る軍部の態度は十九日再が硬化と「政無内閣を経断に否認と、駅園一【東京二十日景】後継内閣に繋ず「にでも呼なりさするものと、軍一

が除了しないこの見解が解画一致的でなければ、鈴木内教師の形態が解画一致的でなければ、鈴木内教師

今後の滿蒙

Ξ

東郷の西部戦線美狀あり、

用、即ち農業原料の加工設備であれる刺戟を奥へる者は、農産物利

移植民に就いて

內閣進言

時局問題上奏

一時より本部で際會、高級、聯絡 を以て大響前總裁が不慮の攻撃 事に入り、山口氏は悲壯なる態 を一氏腺會の挟縛を述べたる態 より輸売の挨拶な述べ、

五大政

四園寺公の態度

今朝來重臣から意見を聽取

あす御下問に奉答か

決した依つて鈴木氏は浦場の 國民生活不安

難破船同樣 日本の現狀は

り政原は急速に安定するかに見られたが軍部を撃げての強硬論は敏感にり政原は急速に安定するかに見られたが軍部を撃げての強硬論は敏感にあるため御下問奉答は二十日中は困難と戦られ程くも二十一日とるため御下問奉答は二十日は年前九時高倫臨時常機、土時愈富機械、十一時戦野内府、午後それぞれ意見を聴取することとなった、公の態度は斯く慎重であるため御下問奉答は二十日中は困難と戦られ程くも二十一日と見られるに至った

強、南の各参議官

3 長、武官長等で厳勢協議が為して保証といいては、同九時四十分には牧野内府参内して保証といい、同九時四十分には終末保証といいません。同九時四十分には終末保証といいません。

今日中には

決るまい

鈴木政友總裁談

發]鈴木政友會總裁

重要協議

総議で関き軍隊の統領問題について 総議で関き軍隊の統領問題について

任勸告

荒木陸相に留

軍事参議官の 「東京二十日費」十九日軍事参議 大勝も十九日年前十一時学節監に 「東京二十日費」十九日軍事参議 大勝も十九日年前十一時学節監に 「政經意見を披瀝してゐるが、町田 「政經意見を披瀝してゐるが、町田 「東京十九日費」荒木陸根の留低

【東京二十日費】倉富福府議長は午前十時間公を訪問、時局拾載に関して樞府方面首腦部の意向を傳達するさろあつた「高げ會見四十五分にして静芸して直に定候閣議に列艦した
 更に重大時局に處する所信及び後継内閣成立後の自己の進速問題も披露して老公の線構を栽め時局についても様々黙認を遂更に重大時局に處する所信及び後継内閣成立後の自己の進速問題も披露して老公の線構を栽め時局についても様々黙認を遂更に重大時局に處する所信及び後継内閣成立後の自己の進速問題も披露して老公の線構を栽め時局についても様々黙認を遂

(東京二十日後) 高橋臨時首根は二十日午前八時國十分駿河盛の邸に園公を訪問、旅游、東京二十日後) 高橋臨時首根と江十日午前八時國十分駿河盛の邸に園公を訪問、旅游、東京二十日後) 高橋臨時首根は二十日午前八時國十分駿河盛の邸に園公を訪問、旅游、

重臣首班の强力内閣

樞府、重臣方面に意見有力

無いな多考に供するが、配公さしても重配の意味を無視するを得予、館木内閣質理に様が概然を控するに至った(高高・高線の高氏が駆けられてゐるも、その中平沼氏が最も適任といふ意見有力で、倉富線長は二十日間の 人材を網羅する强力内閣を絶對必要さいふに意見一致した。可して管理は山本権兵衛、港湾での人材を網羅する強力内閣を絶對必要さいふに意見一致した。可して管理は山本権兵衛、港湾で大會県源にては現下の重大政局を收拾し得べからずさなし、此際超減派的大人物を首班に政、民、貴院大會県源にては現下の重大政局を收拾し得べからずさなし、此際超減派的大人物を首班に政、民、貴院大會県源にては現下の重大政局を收拾し得べからずさなし、此際超減派的大人物を首班に政、民、貴院大會県源にては現下の重大政局を收拾し得べからずさなし、此際超減派的大人物を首班に政、民、貴院大會県源にては現下の重大政局を収拾しません。

交換しついわ

第一時間要談の後平圏製一覧治大勝は十九日午前東郷元帥な 東京二十日教】軍事参議官加藤 臨時議會

時議會に関する他な協議の 時議會に関する他な協議の は、東京二十日登』政府は二 一十三日召集

総実、準定通り二十三日召 (成立後に奏献する方針に決 成立をできまする方針に決

狗內閣固執

條件附き奏請の場合には辭退

鈴木總裁の決意

では、 では相常強く園公に響いてゐる ですだからざうなるか解らね、 ですだからざうなるか解られ、 ですだからざうなるか解られ、 ですだからざうなるか解られ、 園公邸附近の

局で

見玲

サ早稲田天

日・四家・徳

でも軍部少壯派では、政黨の「大」の字さへ許さす、立意報込んに
で居る、称赞楽晴し騰い。 思も同様で、正に心可能の関係を の全校からいへば、他の際工移植 があるいでは、他の際工移植 横民を説いて居ます。

内閣、きういふ戯に落ちつくので 様見政策をを観響する駅間一致 E な 生する 集戦を氏地能養の処き またこれらが とれては 其組織の処き としない、それでは 其組織の処き としてる 給料取を多くするのみで、 かんだった 機は しんが に大機は のに かんしゃ しゅう は が で 大機は の が で 、 他からさうした事業を夢みては、ません、南阿様氏地經營の倫響の企業を大成したセシル、ローツすら、 私 は主旨さらて数に監実移 大學経業中に確って限って空間を対して中間である。現を頼って中間である。

場馬ルルグド 院醫

思は 森の中で チャップリン

君代の

鈴木氏總裁 大新郷一 『監察會書に同二時三十分院會した」 大新郷一 『監察會書に同二時三十分院會した。 一数の要素で興密下復談三喩、 凝い

本に成め無記書主と、政界の強役

策を表明 木總裁の演説要旨

利は一心を國家に操げ非常の決 を改善の事が實績を舉げるや 「観念努力したい、無具諸君は 「一日も早き實現を期す

▲林範二氏(帝國生命調査部長)二 十日出帆のうちる丸で帰國 ・ 一 行中佐) 同上

種々様々な差別があつて、規則能

オリンクの唄

ハロウー

施学を大きて不無悪いとの 原子を決定し、新建裁の挨拶原稿 を水源、大いで協議會を開き新標 を水源、大いで協議會を開き新標 十時半本部に臨時幹部會を開き、

二、國防の充實

外交の刷新

れ自守的態

見後語る 見後語る 東へてゐる點もお話し、又公か ちも承つた次第だ、勿論如何な な事を述べたかは申上げられん が、時局は實に重大で只困つた 事であるさいふ事は関公さ一致 した點である ▲大阪市會議真親察團二十四名同人安田柾氏公前大連汽船社長○同上

の事すら判らなくなつた。郷内閣を続る政局の前途は一寸 政策協力か、政策軍権が を解析した場合 を解析した場合 を表する。後

全國經濟調查機關聯合會鮮消威

れ國民外突の精闘を応る な闘り純潔の かりに懸領の候戯が光つてある た、駅内は飛端さして発更の超あた がりに影响の候戯が光つてある の低に置ってゐる。 入京に挨拶のため來てゐた

がひ時居に對する軍部の態度についる。 後、腕布伽藍族の小泉業太郎氏を を検入時五十分鈴木内根邸を輸送。 翰長小泉氏訪問 カに依る集職が成形されるされるであります、酷って方外ます、随って資本制をした。 と ねのであります、随って資本制を なし、その顕軟が耐火他に燃化を心成、並に震魔術の私用吹きに關て成、並に震魔術の私用吹きに属て

※であって、それ自慢が移植長の大きであって、それ自慢が移植長の教育事 さなれば修築を問はす

Z

7 中 神

親太夫伽星先代敬竹本報

藤を養

福唱オールドケステ 邦 樂 0

常整年角兵衛 松尾太夫

部

すら、様て先づコーヒー園

レグロ・バル バー

本ピクター

でチチ 株様は同行せや髪信組で共に来天 でチチ 株様は同行せや髪信組で共に来天 に飛ぶ子野

触数を操作し、この形式に概ての にこて、候様の軟支を現はし、歌 だと、概ればなれの影響で様

と會見決定

マルーン国立教権

一八二二年の

ヴォルガ河を下 呼の。序面 職 ガールン・ベルカー 大男

旅順建國祝賀運動會

た製干の観衆を彌が上 ます

容れられぬ時は脱退

『東京二十日登』スポーツ浄化の 家な内定近了『東京二十日登』スポーツ浄化の 家な内定近了『

賊ご應戰し 五名射殺 撫順署の捕物



關東廳警務局に

个夜選手出發

洮昻線で南下 三浦環女史は

の建國祝賀運

たのは警察の手入を逸早く知って逃走したものゝ如く理証謝した四名の容疑者は今後蝦事館で販鵬べのたの機能である、関に〇〇は宿書類によって察天〇〇〇〇に在ったことが明白さなった、なほば犯人の一人と目されてた 長裕黙では範疇販鵬べたが〇〇〇〇の所持品中には谷橋供復電線、償費、書類多数あり、概當觀練書類さなるべきものが表見た、 長裕黙では範疇販鵬べたが〇〇〇〇の所持品中には谷橋供復電線、償費、書類多数あり、概當觀練書類さなるべきものが表見 領事館に押送取調 自動車、サイ る、東方廊が表現が 常局は語ってゐる「長春電話」 によって巡音多数の警戒の下に長春領事館に押送されたが右後婦者のうち されたが右鞭撃者のうち該事件に連坐したもの又犯人名は長春羅の欺縄、一郎添さ共に午前十時四十分長年長春羅の欺縄、一郎添さ共に午前十時四十分長年大阪に逮捕された〇〇〇ほか三年の大阪の作力はる被東京が蔵における變電所點鞭犯人一味の有力なる被東京が蔵における變電所點鞭犯人一味の有力なる被

終めるものもある模様で取調べ進行で共に更にその内容その連絡者が糺明されてゆくだらうご舞られてゐる《長春電話》 ●る交響樂が現出し機上からの宣 | 密屋飛事、遊ぶ播はか特別ぶ播二を拍手爆音の物裏を自然を招あらしを射殺、六名を連捕して引得げた 満鐵醫院に敬容中だが生命には別5 の事後地方人一名員、際即時

覇権を目差し 遠征の途へ

周州體育協會より逐遊の大久保頭。 者の夏送りた受け撃みらる遠征の 大を大會兼馬両オリムビツク大會 大僧大會兼馬両オリムビツク大會 大僧大會兼馬両オリムビツク大會 数賀源一郎殿監督北季の下に二十 一郎代間催する全日本陸上競技選 選手は桝田県氏遊に高橋俊夫、小 一郎のうらる鬼で多数陸上開保 一郎のうらる鬼で多数陸上開保 一郎のうらる鬼で多数陸上開保 一郎のうらる鬼で多数陸上開保 一郎のうらる鬼で多数陸上開保 滿洲代表選手出發

寒戦が展開され、東地行の女給さ 歌問談奏會を祝ひ海路級で南下の者が進出してから猛然な女給の事。チチハルに下車十九日天野○廟の春、寒天、徳州方面へカフエー製 人の旋行を験さなつたので十八日春、寒天、徳州方面へカフエー製 人の旋行を験さなつたので十八日春、寒天、徳州方面へカテムと 野帯山野な〇〇軍が出版し、邦 奥地行の爭奪戦か 電日標の下に微微器 運業道部数冊支原政党五度は 活線業道部数冊支原政党五度は 操門護奏會を得び終昂。 学子ハルに下車十九日

行するとなり後見六の 五月十九日五房店▲1五月十九日五房店▲1 コレラの

二十二日鞍口

檢疫開 上海線船舶に

に十一名も出てあるが、今年は上一郎つて確遊機の遊園ありたる事間で月廿六日より五月八日までに転 九日午後一時頭から統三十分間に棚壁らず四月中観より流行も出む 【岡山十九日餐】郷山地方では十上海方面におけるコレラは本年も 【門一】 6 コーニー

なつてある 岡山の黄雨

『満蒙の前途に就て

堀內文次耶中將講演會

明夜七時半協和會館で

入場無料

支那事變傷痍軍人後援會

社社部

就ては軍司令官に一低することととは不管であるが戦金の分配方法に逃す等であるが戦金の分配方法に 満潮(午前十時四十五分 一二十一日 二十一日 天動館院

歓迎されました。

最上醬油」として

汽車やトラックで

母日積出される

けふの小洋相様(正午) 干潮(午後五時十五分 金百圓は一六九圓五〇錢

今日の

激増しつゝ

公然

由

上候 五月十日發病急性肺炎にて 大連病院に入院加療中の處薬石効脈く十大連病院に入院加療中の處薬石効脈く十

が質情に添はの感みがあるさいふ

く總會にかけて認可の手續で研究が進められて 會」で改稱すべ

論議する 林田體協主事談

オリムピック豫選出場の

に見郷電な破したが、同大將は五

女給が前借詐欺

気に

なつて

名は二十日大連殺うらる鬼にて締察中であった大阪市議一行二十四察中であった大阪市議一行二十四 大阪市議歸る

オサーカス人氣の焦點

一日(日曜日)日二十

社員會の献金

又ルミ選手結婚

長距離王ヌルミ選手は十五日秘書

ークソンネン戦さ結婚した

林 病淋菌死滅根治請合

の離れなし、本療法を受け

次氏外二氏引率撫順尋常高等小 本社見學 二十日午前小川

前大連汽艦社長安田祇氏は二十日 中前十時大連繋うらる丸にて難滿 地臓には各対慮の名土多敷見送り 側の途についた







写返し 替









愛國心を涵養し 傷痍軍入を慰問 意義ある後援會々長として

滿洲潜入の農民決死隊

昨夜來長春署で

條なき見込み【撫順電話】

支那事變像幾軍人後援會長期內交一次即中將は二十日午前八時大連縣

具會に出席す

概事態のため像階級備も光分行は れておらず経々流行するおそれが あるが大連藻務局では二十日より 上海が働よりの入漆紙に對しては

は山瀬侯所で登見被郷郷をの紹果。は山瀬侯所で登見被郷郷郷をの紹果。

ゆくすり

火傷、痔疾等の大妙樂

活動の堀内中將來連

辯護士會

近~改稱

關東州廢止

記者に語る を対し、大きないた出訳に、先立ち高橋俊夫 日本代表選手経験委論に就いた出訳に、先立ち高橋俊夫 日本代表選手経験委員 の技術を充分持つて の技術を充分持つて の放績をまたなけれる が先養の柴田、演 が光養の柴田、演 が光養の柴田、演

大連管内の

海線復舊

大汽の天津上

資困兒童

一百九十五名

鬼なこれに光て本月三十日塘治出 地局のため一時停止してゐたが今 時局のため一時停止してゐたが今

演大脈には

三月一日現在在橋の電影一萬二千の日本人被等學校繁風兒薫江本年の日本人被等學校繁風兒薫江本年 九百二十五名に對し二百九十五名

の三隻を就転せしりに「本線に配」がほ天津丸を配し天瀬丸及長平丸」に「清通丸を配し天瀬丸及長平丸」と「本線に配」がほ天津東に、「大津線に配」がは「大津線に配」がは、「大津線に配」がは、「大津線に配」がは、

三、保護者會一二、個人寄附一所張五〇、被服補給者市役所張五〇、被服補給者市役所張保護者會三八、食事補給者市役所提一九一學校用品補給者市役所提一九一

数强

まきに上海の爆弾事件の際負傷と 白川大將禮狀

二萬四千呎の高度に塗した時深下でれの少女は飛行機に乗って終 落下傘新記錄

安田柾氏離滿 一九日發』スマラ

入連取引所錢鈔信託株式會社

株式名義書換テ停止致候 昭和七年五月二十日 四級二依り昭和七年六月一日四リ定時株主總會終了日近株式名義書換テ停止致候

万(日) 林後屋留店 本語語の第5条第 督字 河町池成教授

東八六七五番 所の著名薬店に有り

松村東治創製疲勞後に出血後に是非! パミン

と言いくとなると 元所、運轉技術科、修繕技術科 研究生募集!! 魔話二二五二九番 平江 田 Ė 動車商學在門前

ズ 水 V 別仕立 いたとうなら回びのはの人間 (各壹百若限)

教が軍で程井が終、別府森が支配人、實性大連新聞社長及び本社員

白

t

これは決して番利政策ではな によい事で一時的のものでは によい事で一時的のものでは によい事で一時的のものでは によい事で一時的のものでは る【寫慣はける解題者も思想 満洲國際の養職者も思想 は上海の戦職者も思想 で、長春季ではわが傷痍

車中に同中特を訪へば出頭な口調。

服 夏 供提別特

成の期り。二人の製品屋が筋の棚の靴に、ほつを試さ

百三百圓

副賞コ

ニ等ー

五十四

主殿の呼び壁に鳴りを削めた聴いたさ見ても差支へはあるまい

▲締に吹込む 軍送の事

五月三十一日

入選歌詞はコロンピア蓄音器會社に於て

▲歌詞の内容 一、大連情調を巧みに表現すること(但じ數題 「清洲日報社事業部宛」 「大連情調を巧みに表現すること(但じ數題 「大連情調を巧みに表現すること(但じ數題 「大連情調を巧みに表現すること(但じ數題 「大連情調を巧みに表現することを得(但し一篇毎 「別紙記載のこと)」、用紙は半紙或は原稿用紙を使用し、上面のみ使用のこと 三、投稿 に別紙記載のこと)二、用紙は半紙或は原稿用紙を使用し、上面のみ使用のこと 三、投稿 に別紙記載のこと)二、用紙は半紙或は原稿用紙を使用し、上面のみ使用のこと 三、投稿 に別紙記載のこと)二、用紙は半載或は原稿用紙を使用し、上面のみ使用のこと 三、投稿 に別紙記載のこと)二、用紙は半載であるべし 七、入選作品の版権は 「大連情調を巧みに表現すること(但じ數題

ということは学教育を書の他にや をいっている。これは伝統が を表してあるからスケ政情を で現職してあるからスケ政情を で現職してあるからスケ政情を で現職してあるからスケ政情を で現職してあるからスケ政情を を受いる。 を対し、品別の時は直接に在文 をごよが説す。 をごよが説す。 をごよが説す。

海產物問屋

西園慶助氏日く

T様に心からおすゝめもたく思ひまり風の重観です、是非本店の方が直ヶ天の店員に使用させてゐますが、ナスの店員に使用させてゐますが、

◆一家に一臺ゼひ必要な

温熱

濕布を綜合した醫療界の大革命機

の家女將日く

日英米獨墨事

冶権

急性ならば一兩日

將日く

りした病氣でも 気持のいゝ内に いっに いった。 以後盛ん

然るにこの安美殿は内田屋板が の良業でふしくへの様々はれ即つ の良業でふしくへの様々はれ即つ り等を終する、谷郎の戦闘解リウ せるこの安美殿は内田屋板が解

土不建築請負 辻

吉太原氏日く

商會移動實驗部臨時

張所

傷切・順不經月・症膿蓄症難の等毒梅・炎胱膀・疹痳・炎臓腎

か

午前九時——午後六時常整小郡校前

宅一回金五拾錢 往一回金賣剛

慢性ならば一週間で必ず効果あり

呈進代無書明說大

生回向治が着用愛賞十二機本

込申御宛部破貨部上記職種の

送急代無第次

も使用でき

に向ひました。大甕城もく命の態人は感謝して居ります。なかつた病氣が、治疾機を求めて数回治療したさころ。全く快方かけての極度の冷へ、除程腰から下か寝くしてゐないさ夜も眠れかけての極度の冷へ、除程腰から下 物に

T居る人に知らせて、自他共に幸福である。
でい、治療を受けて見て始めて対つた。これなれば病氣で困つかが、治療を受けて見て始めて対つた。これなれば病氣で困ついが、治療を受けて見て始めて といって笑った。

滿洲日報社長 松山忠次郎氏日く

來る

日までの

大連普及化

す

數百の難病者を續

者を續々全快の短期實験治療

to

あるのは唯

見に解破性

の雁派人を大

此男先は作樂の為めに、

、尾上茶五郎共演の松竹京都作品【中央映影
◆鼠小僧次郎吉◆ 笠貝之助監督、林

職な、はれ、しびれ、問つり等で のは、なが、はれ、しびれ、問つり等で を見てるる。なが多い、は他を でもなって、できない。は他に でもなって、できない。は他に でもなって、できない。は他に でもない。は他に でもない。 ではない。 ではなない。 ではない。 ではない。 ではない。

治らぬ人に一ぷく

店實驗 師の出衆に際し、誠に病人の好機と嬉んできた實驗 師の出衆に際し、滅に病人の好機と嬉んできてあるから、家庭にも十餘楽は備へ、子供の氣管であるから、家庭にも十餘楽は備へ、五といて居る等であるから、家庭にも十餘楽は備へ、五といて居る等であるがら、家庭にも十餘楽は着になった。正といて原をない。 一時は褐梁と寛言された妻の私は生來健康だが、一時は褐梁と寛言された妻の私は生來健康だが、一時は褐梁と寛言された妻の私は生來健康だが、一時は褐梁と寛言された妻の私は生來健康だが、一時は褐梁と質に

は一服の安樂散で消ゆ は旭光で消へ、痛み 五月の最善加療

灸温泉電氣つけ薬で

松浦與三郎

氏日く

見

よ川

大連市の愛用者一

部が告白

る回生の

喜と

奏効

如き本

0

大運動!

驚嘆と感謝の

嵐

肺炎、風、

肋膜炎痛

H

解の掛けるない。見る見る鬼を注: 悪獣のやうな高峰リー胸許へ込 悪獣のやうな高峰リー胸許へ込 悪獣の作法も、名門の誇りも、

海特急」の三映画に東京東製廠に

の群。

歌らして、鳴り響く及さ及の優れ人り聞れる報合、思然と、火花を無二無三に、銀祭を叩くやうに さ一時に殺郅した人総、観だ!

地に近く撮影所の秘跡工事に着手に購入してある郷二萬五千場の敷 社長には西國寺会秘書で政界管案所名は相模撮影所さなる様定で新 する事になった、新會社の社名は オリエンタル映画株式會社、撮影 既に小田急沿線中央林間都 職な教行した選出 際子「帝國館新 常子「帝國館新

乗 て先づ明菜へコーヒー株 ▲中央戦 電館は「人生窓内」に機竹二本の 三本立で機械経過のため今週に殴 り煮夜三回幾行人特なら▲常盤座 はけふから側の一萬人會以緊塞 はけふから側の一萬人會以緊塞 遊戲された棚田電館子、鑑かさけいた日は不思議さ客足がよい)▲ 支配人「今朝わたらが靴を磨いた」を配入「今朝わたらが靴を磨いた 後に変撃の来渡が未

小学、小補管我である 大連権若線整食では来る二十二日 年前九時から「ほてい」にて春季端 解釋子大會か能でが番組左の如じ 解釋子大會か能でが番組左の如じ 解釋子大會か能でが番組左の如じ 解釋子大會が能でが番組左の如じ を第二十二日 ▲ 衛子 忠度、杜若、花月、絃上 本實然、三田芳之助、松山つれ 本實然、三田芳之助、松山つれ 本實然、三田芳之助、松山つれ 大實然、三田芳之助、松山つれ 大質然、三田芳之助、松山つれ 大質然、三田芳之助、松山 福王會月次會 來る廿

洗

雪古電

町狭若

九日公開

専拔ミシ

13

君

張

文化刺繡專修學院滿洲支部

場メンカ中ボ十字病院裏手角に出來る文化刺繍講習

支部新設御披露

日

醉

い時などスグに たり悪解。若し たり悪解。若し

◆宴會には是非必要 をのんで下さい◆テ

澤村國大

勢力富五郎・草間實主演大井正夫・小川雪子主演

頭於大車

服

めと

親

心

亷

奮つて投票あれか興味百%!!

熊の出る開墾地 天園の波止場か 締切愈々迫る!

(可認物便那種三第)

(150)

大川端(五)

さ、その一刹那、待ち機へてゐ

▲獨吟 計

大連夏帽界をヒツトする

春季大會番組

浪華洋行特製 斷然

爾麥帽

指定座席券付實業、滿俱野球 (武正年ピン皮・ゴール三二年最新型・

ム細付り

ます大連實業、漸俱野球後援・指定度席券付にて提供申上ます。 分なき特選麥帽子を 毎年多大の御高評と御期待を辱ふ致して居り今年 斯界を然斷ヒツトする優秀至廉の「紳士の夏帽子」として申

其他各種 六月八日まで 浪 浪 速

監設督計 横井建築事務所 TI 年 章 東土 模 井 謙 介東土 模 井 謙 介

演主代春川市

●嘘の市衝戦●上映中有効 優待割り券 篇巨の演主助之龍形月 ーキート・ルーオ劇代時の初最邦本 朝淳大演主スクンバイテンモ 封よ 日 廿 毛 栗 膝 婚 珍 演主機一アム・シーリコ 優女れぐま氣

記放解

部

888888

聯賀古 ^{太道良納・開級本位}

月日三量

盛

放開錢十二

0

すそして料金は四十銭

五

氏スール・ルデ・イロ督監 言一たい叶が女少一かけい響うざは嘘の

0

階●開公り

葵

十九日より堂々公開

よ日八十

胎

空

廿一日より公開

貫出し期間

●平一<u></u>殼貝 ■作物類主子量入川鉄・卵鉄石町

北づ商工議の改造

大連に対ける四月中の総糸輸出高大連に対するとく減少と三千百九十五十年にして三月に近と二千九百二十年にして三月に近と二千九百二十年にして三月に近と二千九百二十年にある。その中輸出先の表にあると

十三日の緑藍に於て七子萬圓毫を一減少である

四月中旬貿易

依然入超一千餘萬圓

をの同年中記出、

綿糸輸出高

さになる模様である

鮮銀發券高

益々收縮

無想されてゐる、

貸金業

狀況

金額增加

粱低落

近く具體案を見ん

田 の機運が最近難に震感化し谷が配 人間の倉勝所に難する関心は耐水への一大 が送さして (本) 4 であるが、この一 (本) 4 であるが、こので、(本) 4 であるが、(本) 4 であるが、

で成家を急いである

大連移出入米

連移出入米及物語は左の如く大連米数同業組合調査=四月中

順 現年 損失高 (大声) (大声

八統の増加さなつてゐる

るに過ぎず、會社が配に属する き協議を避り管理する機様である 特代並に内地嶼の支店より成り市 記長は遺田大連輪組理事を訪ひ、流行並に内地嶼の支店より成り市 記長は遺田大連輪組理事を訪ひ、流行並に内地嶼の支店より成り市 記長は遺田大連輪組理事を訪ひ、満行並に内地嶼の支店より成り市 記長は遺田大連輪組理事を訪ひ、満行並に内地嶼の支店より成り市

語る | 1937 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 2015 | 20

滿鐵視察員の歸來談

路上に放置の

何車の處分

~警察の力で

が熟認に職談であったり進みビル出題りに殴りであった

一 国での指令があつたので來る二十 に関すの指令があつたので來る二十 を関東殿に對し株式取引人の認可を 関東殿に對し株式取引人の認可を は、一方に対して、一方に対して、 一方に対して、 一方に対して、

卸賣市場改組案

大汽新社日

●現代(後込五二五〇五二四〇 大豆(保物五二〇〇五一九〇 出來高 八十甲 出來高 八十甲 出來高 二十甲 豆 粕 一六八〇 一六八〇 出來高 二十甲 豆 油 一四〇〇 一三九五 出來高 二甲 出來高 二甲

□ ◆朝大豆は邦商の乗替等仕手關係でか調を辿った人名へ高梁は奥地の手持筋が提高は引立たのご邦商の資が指表面に対立たのが非務の資が指表面に対立たのが現地の手持筋が提為面は引立たのが自身を加へて貢減起らず無味関散然ごとて買減起らず無味関散がようだと早くも今年の東数が長途可じかりだる共脈の誘導は逐日燃烈のようだとする。四割減だと取沙込されて三、四割減だと取沙込されて三、四割減だと取沙込されて

五十三回 二十六则五十錢

無いる。 「一般では、これでは、 「一般では、 「一を、 「一を、

相

場

近く大連市参事會へ

志八片一六分一一迄スポットを資志八片一六分一一迄スポットを資

ボイントが上値なるも一般は兎角 野飛され又復転迷び蛇獅正金は一 野飛され又復転迷び蛇獅正金は一

爲替商談閑散

凝型であった

株式取引人認可

の後帰組合間の意見の衝突から収容する運びさなつてるたが、 で、全市の荷車は**変**脂場に全数用で 収容場所さしての設備 需要増さん

数島殿場を中心さして市内路上に 方間壁は交通、衛生の取締上一定 場所に敷容すべく大連署の衛車處 大連運送組合及び衛車組合さな提 を消緩から大連署が借受け運送組 を消緩から大連署が備受け運送組 を消緩から大連署が備受け運送組

人豆硬化油の

近く寶廣場收容實現

九日發】ノルウエー中央銀行諸殿銀行利下『オスロ

前月に比すれば白米一三機師少機のサイルであるが、これか前年同期に出すれば白米千七百一九叭、機一大の大は「増加し、

大連米穀同業組合調査=四月末現

遊満別も水標気に立ち、 学術館に立ち、 大時期。

市中在庫米

出

奥地市

況

五百二袋

の増加さなつてゐる。

魚油硬化油の統制で

一行は対一ケ月間に直る北滿谷地の観察た終り去る十六日來連、滿 全國經濟調查機關聯合滿鮮觀察團 香酸を要する規定を作成中である と、より支那へ向け輸出する貨物に と、まり支那へ向け輸出する貨物に が と、より支那へ向け輸出する貨物に が と、まり支那へ向け輸出する貨物に が は、まり支那へ向け輸出する貨物に が は、まり支那へ向け輸出する貨物に が は、まり支那へ向け輸出する貨物に が は、まり支那へ向け輸出する貨物に が は、これでののでは、 は、これでのである。 料徵收計畫

1995

人土は蝸牛角上

當市下澁る

麻袋弱保合

小八七六月月月

なれ

◆…合理化から続ける。

合理的な総合取り分割所

非単松教授が之

ものより総合取りに

常の胸内ありもも、大手筋は見法が高、内地株式市場も保合び米棉高高、内地株式市場も保合び米棉高高、内地株式市場も保合び米棉高高、内地株式市場も保合び米棉高

各地特產發送高

・ 銀州は我軍の品融小家舎意味序の ・ 大きをである。 現在が八百七 野職 を大きをである。 現年前百二十名 代で を大きをである。 現年前百二十名 代で を大きをである。 現年前百二十名 代で を大きをである。 現在が八百七 野職 を大きをである。 現在が八百七 野職

6.926.6

1.073.4

85,379.5

2.086.6

2.070.2 516.7

18.1 306.9

425.6 552.4

2,305.7

3.044.1

3.446.7

1.148.1

163.8

8.0 671.3

3.350.2

羊商

17

証券部

2348.8

118.520.5 770.4 451.0

2,245,6

大新四十錢安爾新九十錢安爾新十 165,763.8 10.640.0 1.521.3 新銘 22,121.0

2.154.6

豆(小 110六 110六 110六 974.3 76.7 10六 限

23.0 576.1 2.234.2 7.734.8 1.691.7 145.7 4441.8 3.164.1 2111.5 型の意外に多きは注目に値する。 地之何等選ぶ所はない、たと質量 地之何等選ぶ所はない、たと質量

進出の用意が必要

各地とも将來發展の可能性充分

大連輸組理事 霍田忠雄

背後地

經濟事情

百 Ξ

敦

大に機能の輸送網路について見る 大に機能の輸送網路について見る である、また同方面に於ける本邦。 である、また同方面に於ける本邦。 である、また同方面に於ける本邦。 である、また同方面に於ける本邦。

は生活に極勢してゐるが起三年も、既然では場所戦の破害により農民

るに共存共党の標準に関って原

の取引所統

上海為替情

大連埠頭 大連埠頭到著高 大連埠頭到著高 大連埠頭到著高 大連埠頭到著高

公债株式定期現物 株式の御取引は 田 電話長三七二八 大連市敷島町 商 等 **美大** 路信建

店株式部

松油汽船大連出帆 行 極 東 五月廿一日 行 極 東 五月廿一日 行 極 東 五月廿一日 行 極 東 五月廿一日 月 着 六月二日午前太贴 月 着 六月二日午前太贴 月 着 六月二日午前太贴

五。四六八二 第一面 會

●情 總行(新山東 不月廿二日代 理 店 大阪商船(城大連支店大阪商船(城大連支店) 電話四二三七番 專網荷揚所(大連支店) 國際運輸會城大連支店 ■日清汽船東出帆

关望穴⊆值取•二□四 层三穴⊆值值引•四四

海標金

灵量 灵三安安

鮮銀帳尻合大也

株(保合)

市

産

市

況(1十日)

(二十日) (二十日) (二十日) (二十日) (二十日) (二十日) (二十日) (二十日) (三十日) (三十日)

製 株式

大阪期米 全 陳 1580 1581 中 陳 1580 1581 中 陳 1580 1581